資料編

1．町民意識調査の結果

（1）調査概要

調査概要を以下に示す。

<table>
<tr><td>調査対象</td><td>15 歳以上の町民 3,000 人（無作為抽出）</td></tr>
<tr><td>調査方法</td><td>郵送配布、郵送回収及び WEB 回答</td></tr>
<tr><td>調査日</td><td>令和5年（2023 年）7月26日（水）～8月25日（金）</td></tr>
<tr><td>調査項目</td><td>・属性（年齢、お住まい、性別、職業、運転免許証の有無、福祉用具の使用）
・町内公共交通（鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー）の不満点
・外出時の移動における目的や交通手段等について
・新型コロナウイルス感染症の影響による移動の変化について
・今後の公共交通としてふさわしい運行形態について
・公共交通への町民意識について</td></tr>
<tr><td>配布・
回収数</td><td>配布数：3,000 票
回収数：1,306 票（郵送回収：1,209 票、WEB 回答：97 票）
回収率：43.5%

【居住地別の回収状況】※人口比率により配布数は決定
<table>
<tr><th>居住地</th><th>金久保</th><th>黛</th><th>忍保</th><th>八町河原</th><th>神保原町</th><th>七本木</th><th>嘉美</th><th>勅使河原</th></tr>
<tr><td>配布数</td><td>280</td><td>22</td><td>57</td><td>44</td><td>459</td><td>1208</td><td>162</td><td>150</td></tr>
<tr><td>回収数</td><td>111</td><td>9</td><td>28</td><td>17</td><td>203</td><td>527</td><td>64</td><td>71</td></tr>
<tr><td>回収率</td><td>40%</td><td>41%</td><td>49%</td><td>39%</td><td>44%</td><td>44%</td><td>40%</td><td>47%</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>居住地</th><th>帯刀</th><th>堤</th><th>三町</th><th>大御堂</th><th>長浜</th><th>五明</th><th>藤木戸</th><th>無回答</th></tr>
<tr><td>配布数</td><td>49</td><td>88</td><td>159</td><td>112</td><td>95</td><td>55</td><td>60</td><td>—</td></tr>
<tr><td>回収数</td><td>20</td><td>33</td><td>60</td><td>45</td><td>33</td><td>21</td><td>27</td><td>37</td></tr>
<tr><td>回収率</td><td>41%</td><td>38%</td><td>38%</td><td>40%</td><td>35%</td><td>38%</td><td>45%</td><td>—</td></tr>
</table>
【本調査結果の有意性】
以下の公式を用いて、本調査結果の回収数に対する有意性を検証する。
$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$
ε：標本誤差（許容できるサンプリングの誤差（一般的には 5%以内））
K：正規分布の性質から与えられる値
（ε＝5%の場合、1.96。ε＝2.9%の場合、2.18）
P：調査結果の比率（最も安全側の値である 0.5 とする）
N：母集団の大きさ（上里町人口：30,354 人（2023 年 4 月時点の町人口））
n：回収数（1,306 票）

今回の回収数を上式の n にあてはめて、標本誤差を求めると 2.9%となる。
一般的な基準である 5%を下回っており、<u>本調査は有意性を確保できている。</u></td></tr>
</table>

調査票及び公共交通に関する調査の目的を示した概要を一緒に配布した。

上里町内の公共交通に関するアンケート調査のお願い

町民の皆様には、日頃より町政にご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、急速な人口減少、運転手の担い手不足や新型コロナウイルス感染症の影響等による利用者数の減少など、公共交通を取り巻く環境が悪化しております。一方で、高齢化や運転免許返納者数の増加等により、公共交通の重要性がより高まると考えられます。

このような状況を踏まえ、上里町では、地域特性や公共交通の利用状況の変化を踏まえつつ、利便性が高く持続可能な公共交通体系（令和7年度からの町が実施する公共交通サービスの検討を含む）を構築するため、「上里町地域公共交通計画」を策定します。

この計画の策定にあたり、町民の皆様の公共交通の利用状況や意見を参考にさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年7月

上里町長　山下　博一

≪ご記入にあたってのお願い≫

1. お答えいただく方は、上里町に住民登録のある方の中から抽出した、15歳以上の 3,000 人の方が対象です。
2. 対象者全員の方にご意見を頂きたいと考えていますが、都合により記入できない方がいる場合は、ご家族など代理の方でも結構ですので、できる限りご返信いただくようご協力お願いいたします。
3. ご回答は無記名です。お名前を記載する必要はありません。
4. 調査票の設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりと記入ください。
5. ご回答いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、8月25日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。
6. このアンケートは、PC・スマートフォンからでもご回答いただけます。

アンケート回答 URL：https://rsch.jp/72be66f1adc7dac6/login.php

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

（問い合わせ先）上里町　総合政策課　政策調整係
住所：埼玉県児玉郡上里町大字七本木 5518 番地
TEL：０４９５－３５－１２２１（代表）
FAX：０４９５－３３－２４２９（代表）

上里町内の公共交通に関するアンケート調査票

※ご回答しにくい設問についてのご記入は、無理にお答えいただく必要はありません。
※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

■町内の公共交通について

設問 1 町内の公共交通（鉄道・路線バス・こむぎっち号・タクシー）について、不満に思っていることを教えてください。
【選択肢から、それぞれ不満と思う順に最大３つまで選択肢番号をご記入ください。】

鉄道（JR 高崎線）：【不満】 最も不満 □ 2番目に不満 □ 3番目に不満 □ 左から最も不満と思う順に下の番号を記載　【不満なし】□ 不満なしの方は✔印　【わからない】□ わからない方は✔印

＜選択肢＞
1. 利用したい時間帯に運行していない
2. 始発（終発）時間が遅い（早い）
3. 時刻表がわかりにくい
4. 運行本数が少ない
5. 出発地、目的地の近くに駅がない
6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

路線バス（神泉総合支所線）：【不満】 最も不満 □ 2番目に不満 □ 3番目に不満 □ 左から最も不満と思う順に下の番号を記載　【不満なし】□ 不満なしの方は✔印　【わからない】□ わからない方は✔印

＜選択肢＞
1. 利用したい時間帯に運行していない
2. 始発（終発）時間が遅い（早い）
3. 運行本数が少ない
4. どこを走っているのかわからない
5. 停留所の場所がわからない・わかりづらい
6. 出発地、目的地の近くに停留所がない
7. 乗り継ぎ・乗換えが不便
8. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

こむぎっち号：【不満】 最も不満 □ 2番目に不満 □ 3番目に不満 □ 左から最も不満と思う順に下の番号を記載　【不満なし】□ 不満なしの方は✔印　【わからない】□ わからない方は✔印

＜選択肢＞
1. 利用したい時間帯に運行していない
2. 始発（終発）時間が遅い（早い）
3. 日曜に利用できない
4. 出発地から目的地までの所要時間が長い
5. 運行日が１日置き（北部：月・水・金、南部：火・木・土のみ運行）で利用しづらい
6. 運行本数が少ない
7. どこを走っているのかわからない
8. 停留所の場所がわからない・わかりづらい
9. 出発地、目的地の近くに停留所がない
10. 乗り継ぎ・乗換えが不便
11. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

タクシー：【不満】 最も不満 □ 2番目に不満 □ 3番目に不満 □ 左から最も不満と思う順に下の番号を記載　【不満なし】□ 不満なしの方は✔印　【わからない】□ わからない方は✔印

＜選択肢＞
1. 予約しないとタクシーに乗れない
2. 予約してもなかなか来ない
3. タクシー会社の連絡先がわからない
4. 運賃が高い
5. 車いすやベビーカー等では利用しづらい
6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

1

■外出時の移動について

設問 2　あなたが普段外出する際の目的ごとの目的地、頻度、移動手段についておうかがいします。外出頻度の高い目的３つ以内でお答えください。目的地は下図の地域から選択し、目的地が上里町外の場合は市町村名をご記入ください。

	目的【1つに○印】	最終目的地【1つに○印】 町内	最終目的地【1つに○印】 町外	外出頻度【1つに○印】	交通手段（電車を利用される方はJR駅までの交通手段）
最も多い外出	1．通勤・通学 2．買い物 3．通院 4．手続き等 5．趣味・遊び・食事・知人訪問 6．その他 （　　）	1．神保原地域 2．上里東地域 3．七本木地域 4．賀美地域 5．長幡地域	6．上里町外 （　　） 市・町・村 鉄道利用 □ 鉄道を利用される方は✔印	1．週6～7日 2．週5日 3．週3～4日 4．週1～2日 5．月2～3日 6．月1日程度 7．その他 （　　）	1．徒歩 2．自転車・バイク 3．自動車(自分で運転) 4．家族による送迎 5．こむぎっち号 6．路線バス 7．タクシー 8．その他 （　　）
2番目に多い外出	1．通勤・通学 2．買い物 3．通院 4．手続き等 5．趣味・遊び・食事・知人訪問 6．その他 （　　）	1．神保原地域 2．上里東地域 3．七本木地域 4．賀美地域 5．長幡地域	6．上里町外 （　　） 市・町・村 鉄道利用 □ 鉄道を利用される方は✔印	1．週6～7日 2．週5日 3．週3～4日 4．週1～2日 5．月2～3日 6．月1日程度 7．その他 （　　）	1．徒歩 2．自転車・バイク 3．自動車(自分で運転) 4．家族による送迎 5．こむぎっち号 6．路線バス 7．タクシー 8．その他 （　　）
3番目に多い外出	1．通勤・通学 2．買い物 3．通院 4．手続き等 5．趣味・遊び・食事・知人訪問 6．その他 （　　）	1．神保原地域 2．上里東地域 3．七本木地域 4．賀美地域 5．長幡地域	6．上里町外 （　　） 市・町・村 鉄道利用 □ 鉄道を利用される方は✔印	1．週6～7日 2．週5日 3．週3～4日 4．週1～2日 5．月2～3日 6．月1日程度 7．その他 （　　）	1．徒歩 2．自転車・バイク 3．自動車(自分で運転) 4．家族による送迎 5．こむぎっち号 6．路線バス 7．タクシー 8．その他 （　　）

地域区分図

■新型コロナウイルス感染症の影響について

設問 3 新型コロナウイルス感染症の流行が始まる前と、流行から 5 類感染症へ引き下げとなった現在までのあなたの日常生活における外出回数に変化はありましたか。**【1 つに○印】**

1. 外出回数は大きく減少した（→設問 3-1 へ）　2. 外出回数は多少減少した（→設問 3-1 へ）
3. 最近 1 か月でコロナ前の外出回数に戻りつつある・戻った（→設問 4 へ）
4. 外出回数はコロナ前もコロナ禍も変わらない（→設問 4 へ）

＜設問 3 で「1. 大きく減少した」「2. 多少減少した」と回答された方へ＞

設問 3-1

① 主にどのように変わりましたか。**【選択肢から最大3つまで選択肢番号をご記入ください。】**

【変わったこと】 □□□ 最大 3 つまで下の番号を記載

＜選択肢＞

1. 通勤・通学の回数が減った　2. 買い物に行く回数が減った
3. 通院する回数が減った　4. 観光やレジャーの回数が減った
5. 家族や友人との外食回数が減った　6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

②へお進みください。

② コロナ前の移動手段と現在の移動手段に変化はありましたか。**【1 つに○印】**

1. 公共交通（鉄道、路線バス、こむぎっち号、タクシー）を利用する回数が減った
2. 自家用車の使用が増えた　3. 徒歩や自転車で移動することが増えた
4. 移動手段は変わらない　5. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

③へお進みください。

③ 外出の目的ごとの外出回数についておうかがいします。
【外出の目的ごとにあてはまる数字 1 つに○印】

通勤・通学での外出回数
1. テレワークやオンライン授業が定着しているため、コロナ前には戻っていない・戻らない
2. 出社や登校は必要なので、コロナ前に戻る・既に戻っている
3. 通勤・通学はしていない　4. その他（　　）
買い物での外出回数
1. ネットショッピングやデリバリー等の利用ができるため、コロナ前には戻っていない・戻らない
2. 商品を見て買いたいので、コロナ前に戻る・既に戻っている
3. その他（　　）
観光やレジャー、外食での外出回数
1. 人との接触や密になることが不安なので、コロナ前には戻っていない・戻らない
2. 感染の不安が無くなれば、コロナ前に戻る・既に戻っている
3. その他（　　）

■上里町における運行形態の検討について

◆こむぎっち号について

上里町では、平成 28 年から町内を循環する公共交通サービスとしてコミュニティバス「こむぎっち号」が運行されています。こむぎっち号は、町内の公共施設や商業施設を中心にバス停を配置しており、全５ルートで運行し、町内のほぼ全域を網羅しています。運賃は１乗車 100 円で、町内外問わず、どなたでも利用することができます。

写真　こむぎっち号(南部ルート)

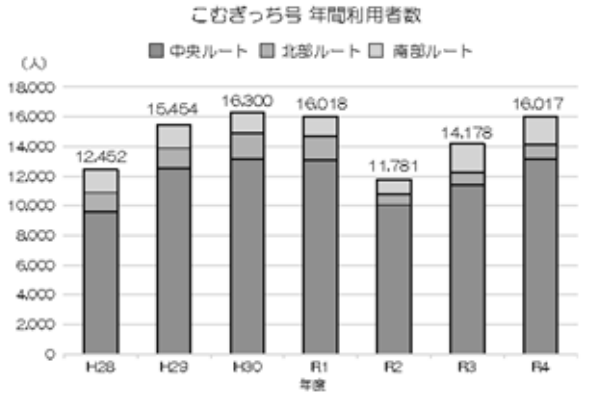
◆こむぎっち号の現状

上里町では少子高齢化が進んでおり、今後は運転免許証を返納した方等、移動手段が限られる方が増えることが想定されます。

町内の移動手段としての役割を持つこむぎっち号の年間利用者数は、中央ルートでは一定数いますが、北部ルート及び南部ルートでは中央ルートに比べて少ない状況です。また、こむぎっち号の運行における費用は約 5,340 万円/年(R4年度)であり、運賃収入は約 100 万円/年(R4年度)となっています。

運賃収入だけでは運行できない状況であるため、国からの補助金等を活用するとともに、上里町においても約 920 万円/年(R4年度)を負担しています。上里町の負担額を1乗車当たりで計算すると、約 574 円/1 乗車(R4年度)の費用がかかっていることになります。

少子高齢化の進行により公共交通の需要は高まる一方で、公共交通を維持していくためには現在の運行形態の改善が必要となっています。そのような状況の中で、上里町にふさわしい運行形態を検討しています。



設問４ 上里町の今後の公共交通としてふさわしいと思うものを教えてください。
【設問４下の「◆運行形態の一例」を参考に最もふさわしいと思うもの１つに○印】

1. 現在の運行形態（コミュニティバス）のままでよい	
2. 現在の運行形態（コミュニティバス）を改善して運行⇒改善してほしい所（　　）	
3. デマンド交通	4. タクシー助成
5. コミュニティバスとデマンド交通の併用	6. コミュニティバスとタクシー助成の併用
7. わからない	8. その他（　　）

◆運行形態の一例

運行形態の一例として、現在運行しているコミュニティバスの他、利用者のニーズに応じて柔軟に対応する「デマンド交通」、タクシー運賃を助成する「タクシー助成」があり、それぞれ下の表のような特徴・運用方法等があります。

運行形態	特徴	運用方法	メリット	デメリット	他市町村事例
コミュニティバス	運行ルートとダイヤが決まっている乗合型の運行形態	【こむぎっち号】 町内を5ルート運行している乗り合いバス 写真　こむぎっち号	○決まった時間に運行しているため事前登録や事前予約を行う必要がない ○運賃があらかじめ決まっている	△バス停まで遠い方がいる △運行ルートが長距離になるため所要時間が長くなる可能性がある	【深谷市】 2km 未満 1 回 100 円 2km 以上 1 回 200 円 【桶川市】 1 回 200 円 （中学生以上）
デマンド交通	利用者からの予約により運行され、予約ができれば、利用したい時間に利用できる乗合型の運行形態	【本庄市事例】 はにぽん号 事前の電話予約に応じて停留所から停留所まで送迎する乗合いバス 写真　はにぽん号	○予約があった際に運行する形で、予約ができれば自分の利用したい時に利用ができる	△予約ができない可能性がある △コミュニティバスと比較すると運賃の自己負担額が大きくなる可能性がある △予約や事前登録等の手間がかかる △異なる目的地に行く方が乗り合った場合、所要時間が長くなる可能性がある	【本庄市】 停留所～停留所 1 回 300 円 【北本市】 自宅～目的地※ 1 回 500 円 ※北本市内に限る。ただし指定された市外医療機関への運行も可能。
タクシー助成	一般的なタクシーと使い方は同じであり、運賃の一部を助成する仕組み	【美里町事例】 申請した方（40 歳以上の運転免許証を持っていない方・自動車を持っていない方等）が、町内又は乗降場所のどちらかが町内でタクシーを利用する場合、タクシー運賃の一部を助成するもの	○自宅から目的地までの利用が可能 ○タクシーとほぼ同じ使い方なので乗り方を覚える必要がない	△乗車距離によっては、コミュニティバスやデマンド交通と比較すると、運賃の自己負担が大きくなる可能性がある △利用対象者、助成回数、助成額に一定の制限がかかる可能性がある	【美里町】 1 乗車で 1 人 3,000 円分まで使用できる。（年間 43,200 円分まで） 【富士見市】 タクシー運賃の半額を助成・上限額 600 円

■これからの公共交通について

設問 5 町民の移動は、自家用車が中心となっています。あなたは今後自家用車による移動から公共交通を利用した移動に変更したいと思いますか。**【1 つに○印】**

1. そう思う　（→設問 5-1 へ）　2. どちらともいえない（→設問 5-3 へ）
3. そう思わない（→設問 5-2 へ）　4. （日常的に）自家用車を利用していない（→設問 6 へ）

＜設問 5 で「1. そう思う」と回答された方へ＞

設問 5-1　自家用車から公共交通利用へ変更したい理由を教えてください。**【1 つに○印】**

1. 技術面で運転に不安を感じているから　2. 健康面で運転に不安を感じているから
3. 健康を意識して少しでも歩く機会を増やすべきだと思うから
4. 環境への配慮が必要だと思うから　5. 自家用車の維持にお金がかかるから
6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）　設問 5-3 へお進みください。

＜設問 5 で「3. そう思わない」と回答された方へ＞

設問 5-2　自家用車から公共交通利用へ変更したくない理由を教えてください。**【1 つに○印】**

1. 自家用車での移動が便利だから　2. 公共交通の利用は不便だから
3. 運転に不安を感じないから　4. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
設問 5-3 へお進みください。

＜設問 5 で「1. そう思う」「2. どちらともいえない」「3. そう思わない」と回答された方へ＞

設問 5-3　あなたはどのような条件が整えば自家用車から公共交通を利用した移動に変更したいと思いますか。**【最も望ましいもの 1 つに○印】**

1. 出発地、目的地の近くに駅や停留所がある　2. 乗りたい時間帯に運行している
3. 公共交通が安価に利用できるようになる　4. 公共交通の情報が分かりやすくなる
5. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）　6. 何があっても変更しない

設問 6 公共交通（鉄道、路線バス、こむぎっち号、タクシー）は、町民の移動において必要不可欠であると思いますか。**【それぞれあてはまる番号 1 つずつ、計 4 個に○印】**

	強くそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全く思わない	わからない
鉄道	1	2	3	4	5	6
路線バス	1	2	3	4	5	6
こむぎっち号	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	3	4	5	6

設問７ あなたが公共交通サービスにおいて重要だと思うことを教えてください。
【選択肢から、重要だと思う順に最大３つまで選択肢番号をご記入ください。】

【重要だと思うこと】 最も重要 □ 2番目に重要 □ 3番目に重要 □ 左から最も重要だと思う順に下の番号を記載

【わからない】 □ わからない方は✔印

＜選択肢＞

1. 乗りたい時間に利用できること（時間）
2. 目的地までの所要時間が短いこと（時間）
3. 自宅近くで乗れること（場所）
4. 目的地近くに行けること（場所）
5. 運賃が安いこと（金額）
6. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

設問８ どのような目的の時に、利用しやすい公共交通になればより便利になると思いますか。
【1 つに○印】

1. 商業施設で買い物をするとき
2. 神保原駅を利用するとき
3. 医療施設や福祉施設に通うとき
4. 通勤・通学のとき
5. 公共施設（役場等）を利用するとき
6. 飲食店・娯楽施設を利用するとき
7. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■あなた自身のことについて

設問９ あなたご自身についておうかがいします。**【それぞれ 1 つに○印】**

①年齢	1. 20 歳未満　2. 20 歳代　3. 30 歳代　4. 40 歳代 5. 50 歳代　6. 60 歳代　7. 70 歳代　8. 80 歳代　9. 90 歳以上
②お住まい	1. 金久保　2. 黛　3. 忍保　4. 八町河原 5. 神保原町　6. 七本木　7. 嘉美　8. 勅使河原 9. 帯刀　10. 堤　11. 三町　12. 大御堂 13. 長浜　14. 五明　15. 藤木戸
③性別	1. 男性　2. 女性　3. その他（　　）
④職業	1. 自営業・自営業の家族従業者　2. 会社員・公務員・団体職員等（派遣含む） 3. 臨時雇用・パート　4. 学生　5. 家事専業　6. 無職
⑤運転免許証	1. 持っている　2. 持っているが、使っていない 3. 持っているが、返納を考えている　4. 持っていたが、自主返納した 5. 持っていない
⑥福祉用具	1. 常に使用する　2. 時々使用する　3. 使用しない ※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方 使用する福祉用具【あてはまるものすべてに○印】 1. シルバーカー（押し車）　2. 電動カート 3. 車いす　4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ　6. 補聴器 7. その他（　　）

裏面へ

■上里町の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば教えてください。

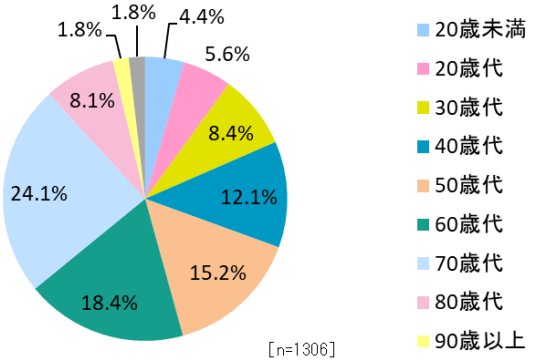
＜自由意見＞

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
返信用封筒（切手不要）に入れて、８月２５日（金）までに
お近くのポストに投函下さい。

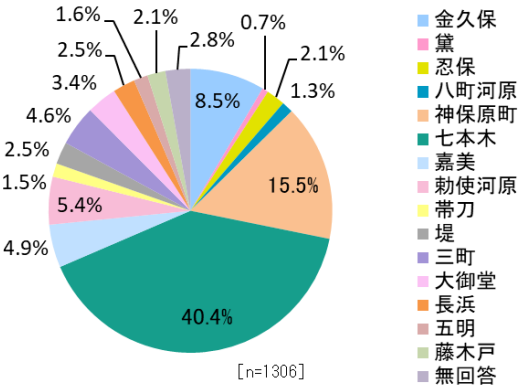
（2）調査結果

① 回答者属性

【年齢】

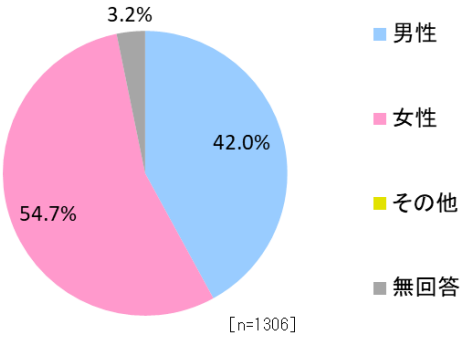


【お住まい】

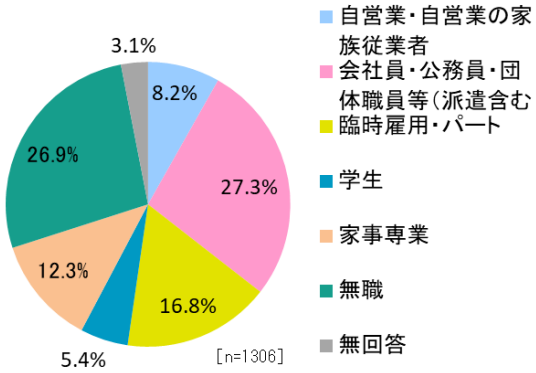


- 70 歳代からの回答が最も多いが、全世代から回答を得られた。
- 七本木地区からの回答が最も多く、次に神保原町地区からの回答が多い。

【性別】



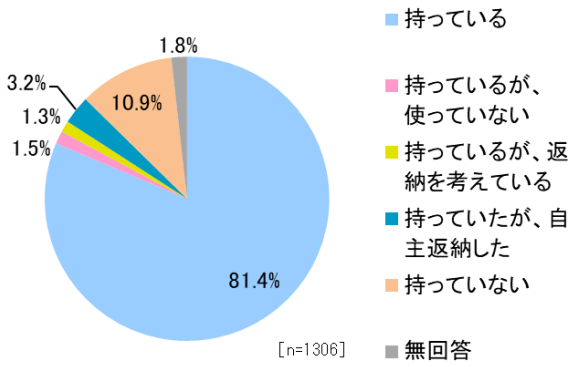
【職業】



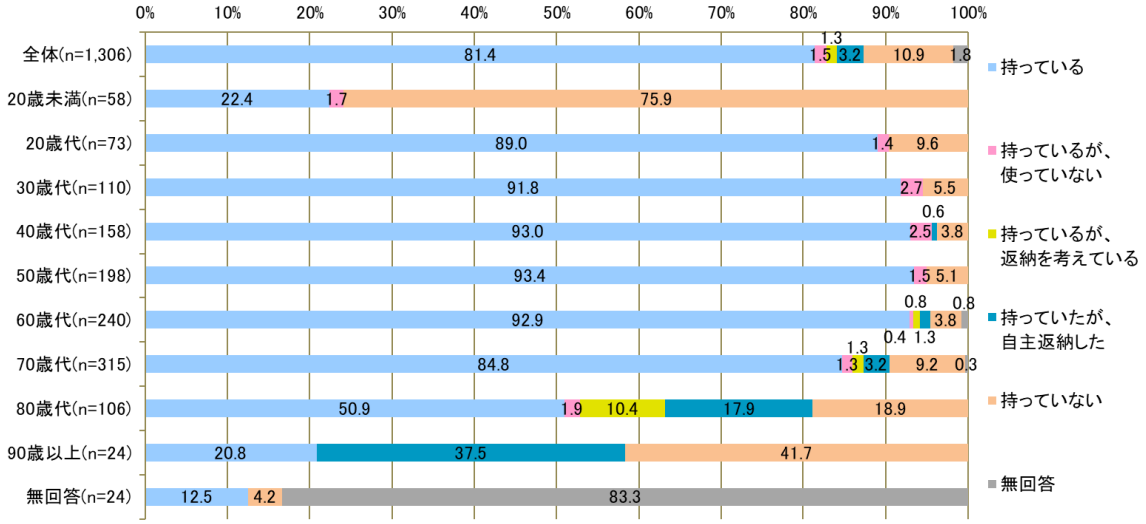
- 女性からの回答が 54.7%と、男性よりも若干多い。
- 様々な職業の方から回答を得られた。

【運転免許証】

・81.4%の方が運転免許証を所持・運転している状況であり、自動車中心の移動であることが窺える。
・20～60 歳代は各年代約 9 割の方が所持、運転している状況であり、自主返納や持っていない方等、運転をしていない方は 20 歳未満や 80 歳代以上の一部となっている。
・80 歳代以上は、自主返納している方や自主返納を考えている方の割合が高くなっている。

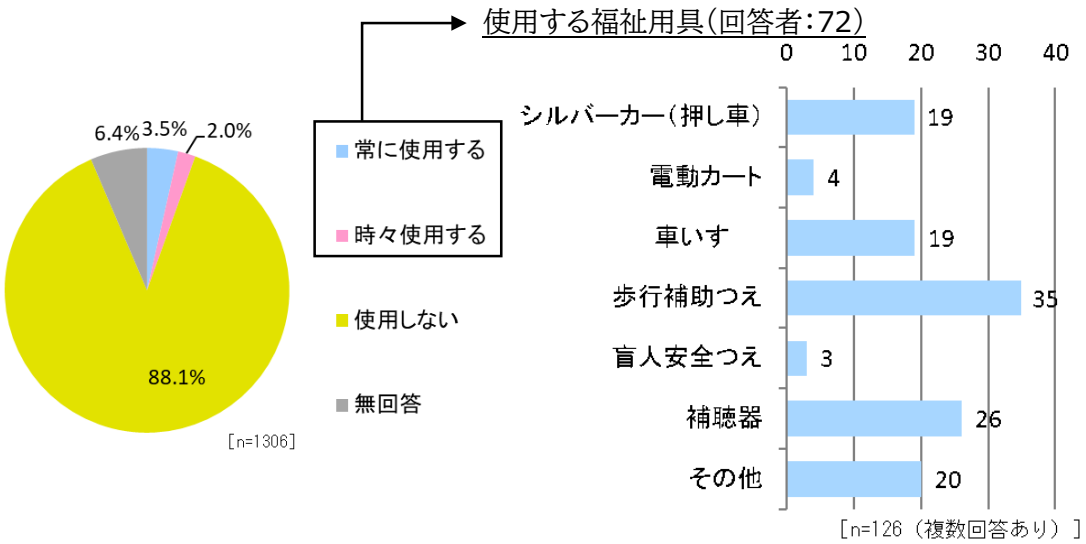


＜年齢別＞



【福祉用具】

・88.1%の方が福祉用具を使用しないと回答している。
・常に使用する、時々使用すると回答した方は約 5.5%で、歩行補助つえを使用している方が最も多い。その他には、シルバーカーや車いす等の福祉用具の使用や、補聴器を使用している方が一定数いる。

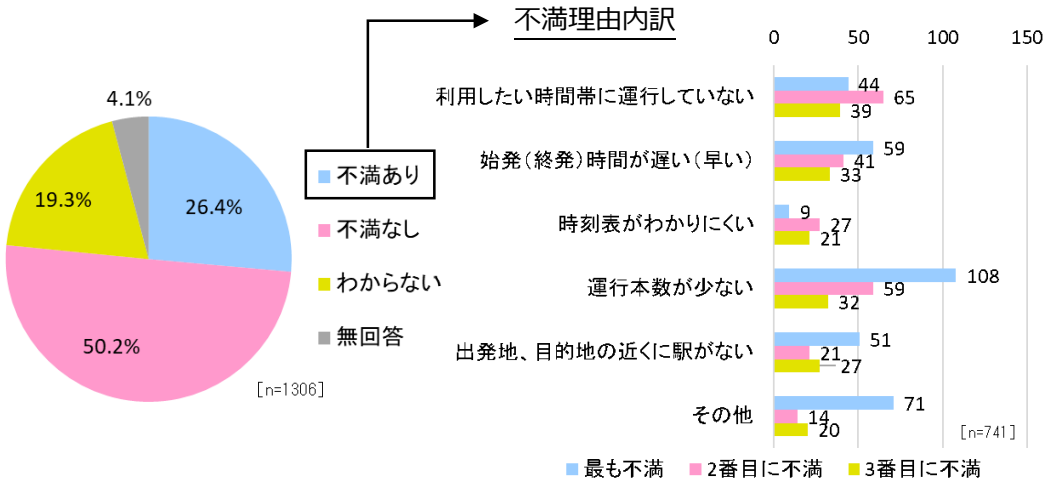


② 設問への回答

■　設問１：町内の公共交通（鉄道・路線バス・こむぎっち号・タクシー）について、不満に思っていることを教えてください。

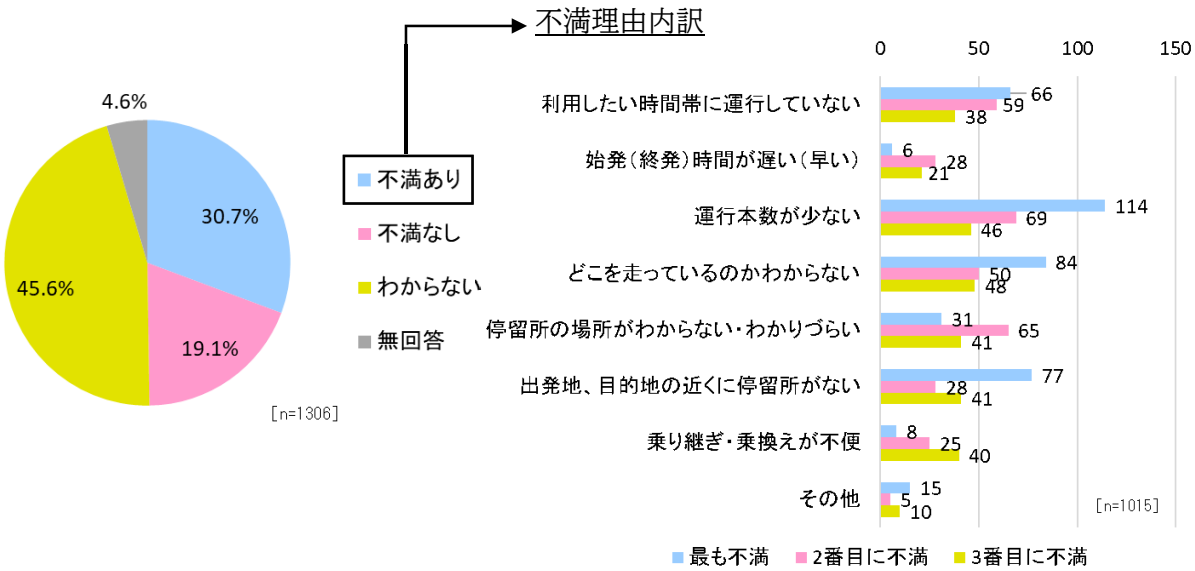
【鉄道（JR 高崎線）】

・約半数の方が「不満なし」と回答している。
・不満理由としては、「運行本数が少ない」ことが最も多い。



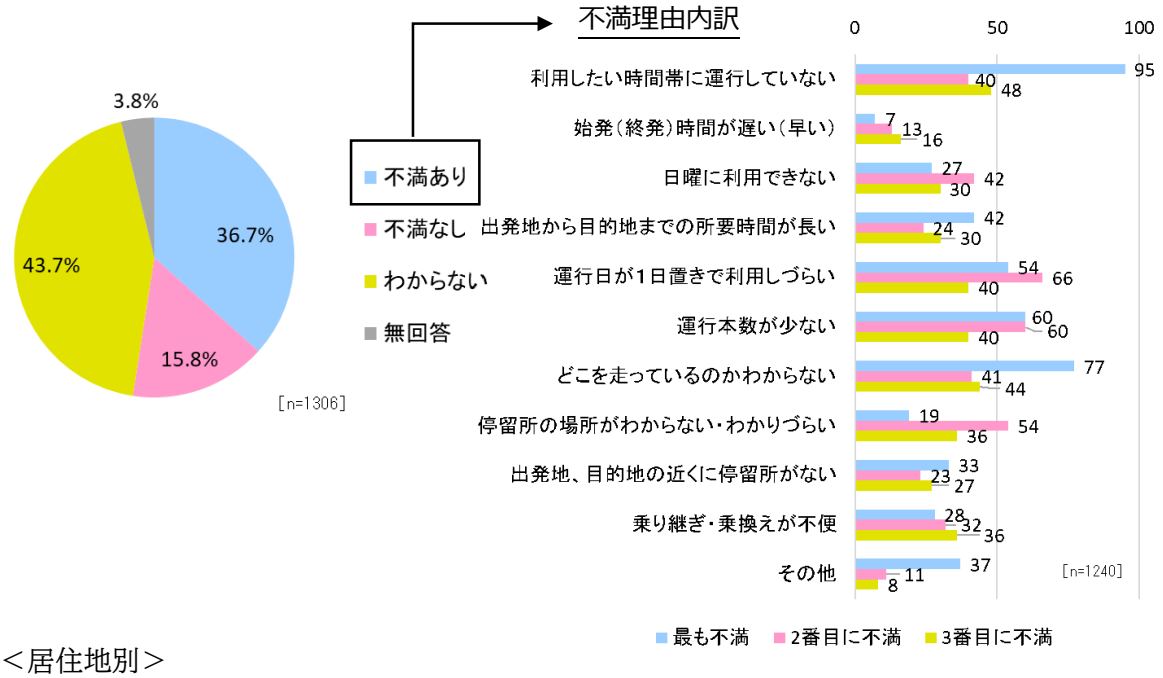
【路線バス（神泉総合支所線）】

・30.7%の方が「不満あり」と回答している。
・不満理由としては、「運行本数が少ない」ことのほか、「どこを走っているのかわからない」「停留所の場所がわからない・わかりづらい」といった情報提供に関する意見があげられている。

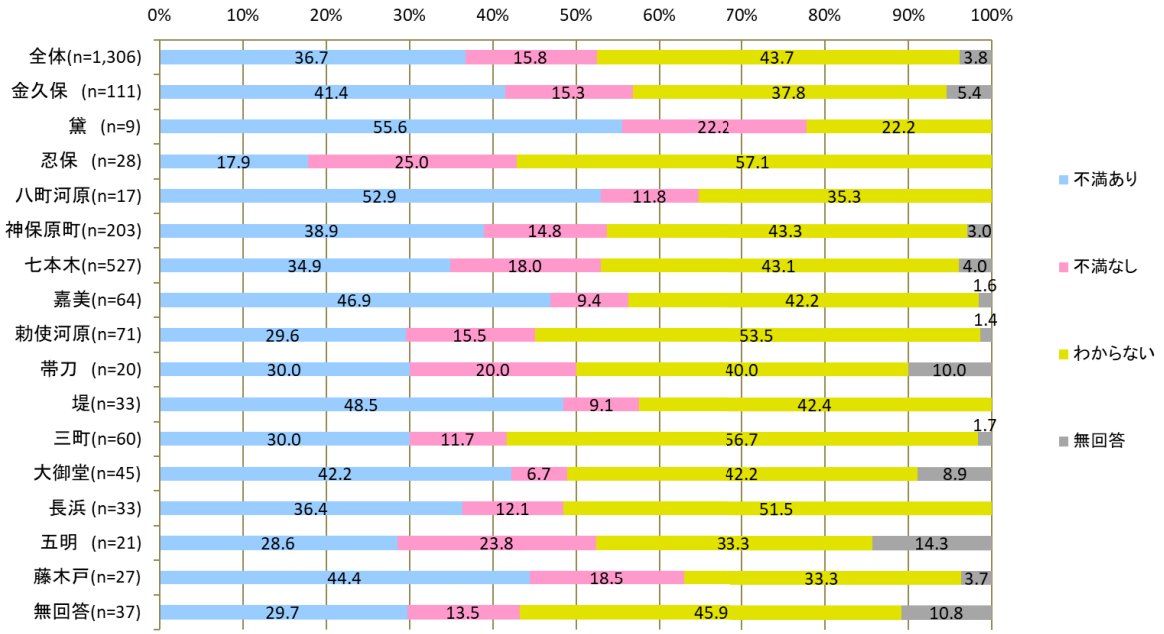


【こむぎっち号】

・36.7%の方が「不満あり」と回答している。
・不満理由として、「利用したい時間帯に運行していない」ことのほか、「どこを走っているのかわからない」「停留所の場所がわからない・わかりづらい」といった情報提供に関する意見があげられている。また、「運行日が１日置きで利用しづらい」といった意見もあげられている。
・地域によって傾向はあまり変わらないが、忍保や勅使河原、三町、長浜の地域では「わからない」と回答している方が半数以上の地域もある。

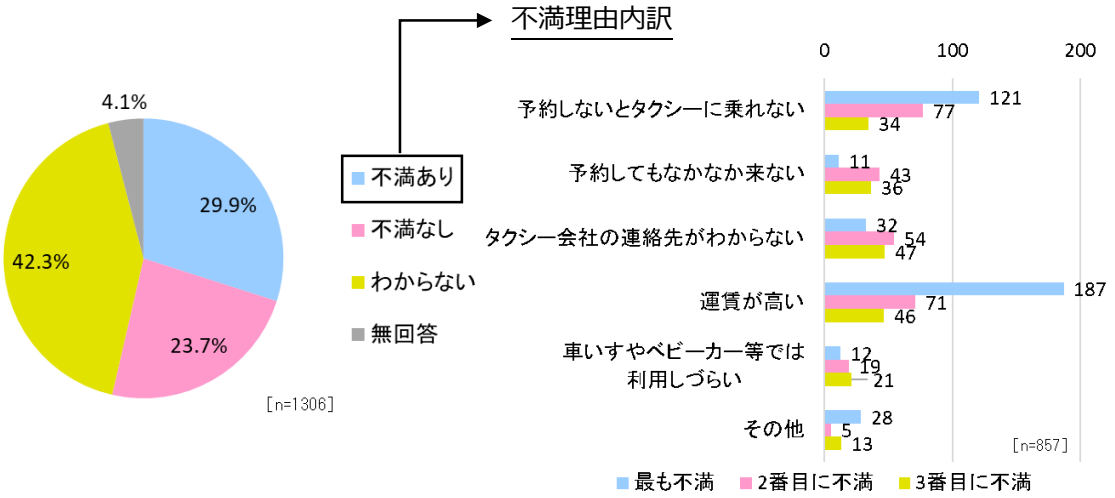


＜居住地別＞



【タクシー】

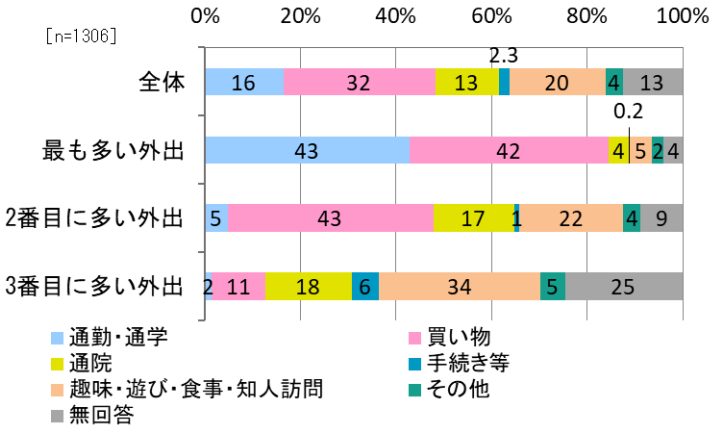
・「不満あり」と「不満なし」が同程度となっている。
・不満理由としては、「運賃が高い」が最も多い。



■　設問２：あなたが普段外出する際の目的ごとの目的地、頻度、移動手段についておうかがいします。外出頻度の高い目的３つ以内でお答えください。

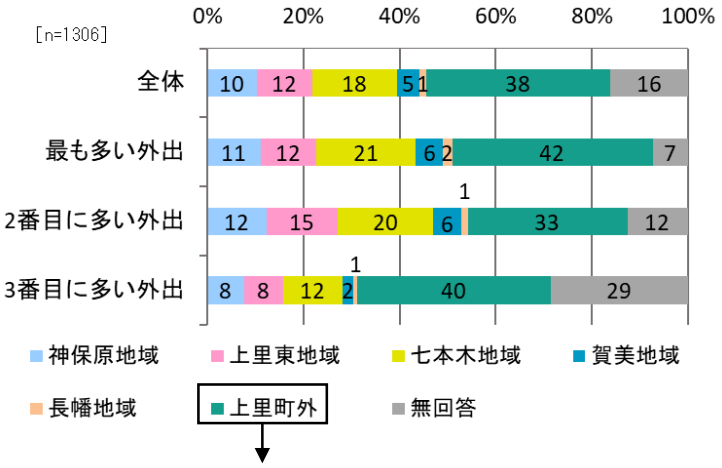
【目的】

・全体では、「買い物」が 32%と最も多く、
・最も多い外出では、「通勤・通学」「買い物」が多い。
・2 番目、3 番目に多い外出では、「趣味・遊び・食事・知人訪問」や「通院」の割合が、最も多い外出より大きくなっている。



【最終目的地】

・全体では、「上里町外」への移動が 38%と最も多く、本庄市、深谷市、高崎市等が多い。
・町内では、「七本木地域」が最も多く、次いで「上里東地域」「神保原地域」となっている。

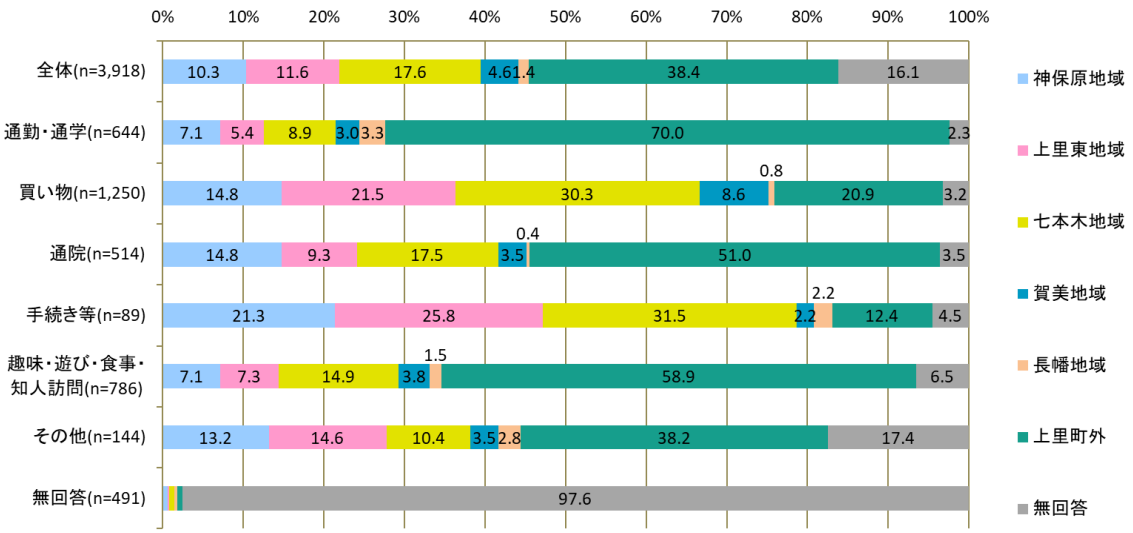


上里町外と回答した結果（上位10箇所）

順位	最も多い外出		2番目に多い外出		3番目に多い外出	
	最終目的地	件数	最終目的地	件数	最終目的地	件数
1	本庄市	200	本庄市	174	本庄市	182
2	深谷市	38	藤岡市	34	高崎市	50
3	高崎市	35	高崎市	33	藤岡市	43
4	藤岡市	29	伊勢崎市	13	伊勢崎市	22
5	神川町	19	前橋市	12	群馬県	18
6	熊谷市	18	群馬県	10	深谷市	14
7	伊勢崎市	18	深谷市	9	前橋市	14
8	美里町	15	神川町	9	東京都	8
9	前橋市	13	東京都	7	熊谷市	7
10	東京都	10	熊谷市	6	県外	7

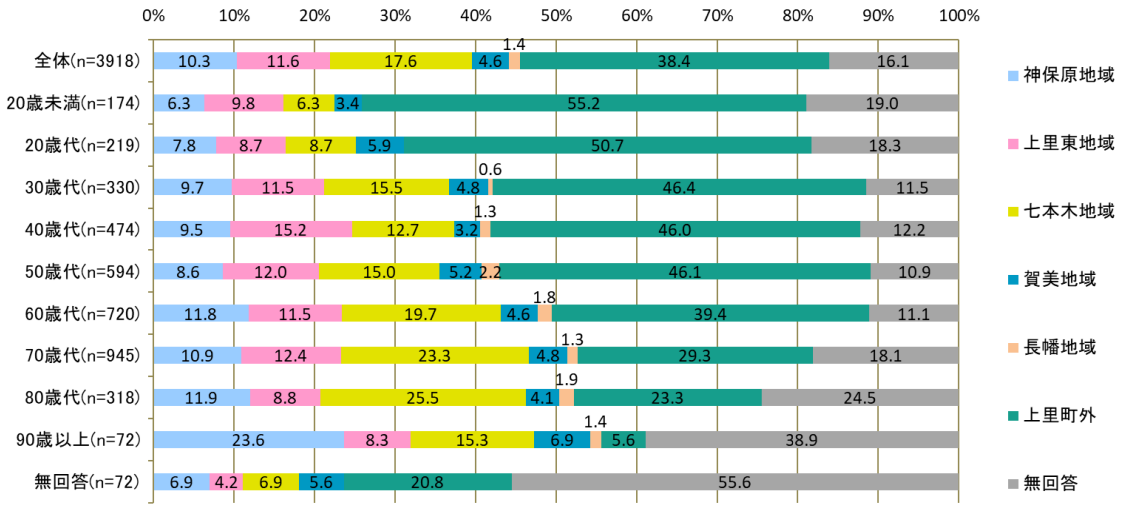
＜目的別＞

・「通勤・通学」や「通院」、「趣味・遊び・食事・知人訪問」では、半数以上が町外と回答している。一方で、「買い物」は町内の回答が多い。



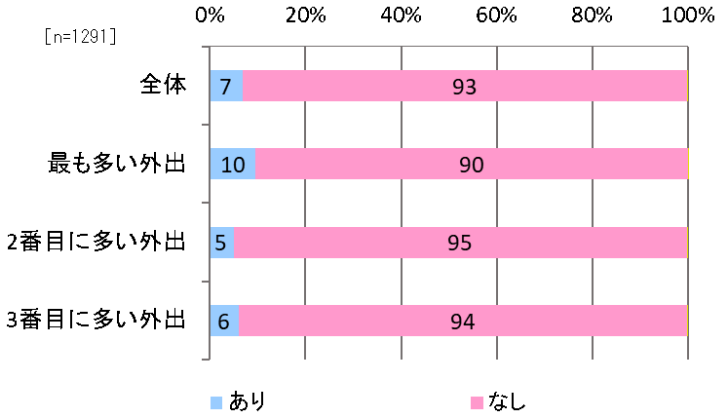
＜年齢別＞

・50 歳代までは「上里町外」への外出が約半数を占めており、60 歳代から徐々に「上里町外」への外出が減少傾向にある。



【鉄道利用】

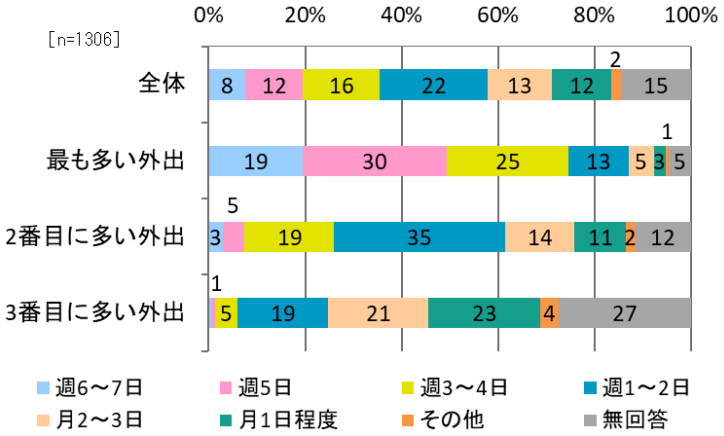
・90%以上が外出時に鉄道を利用していない。



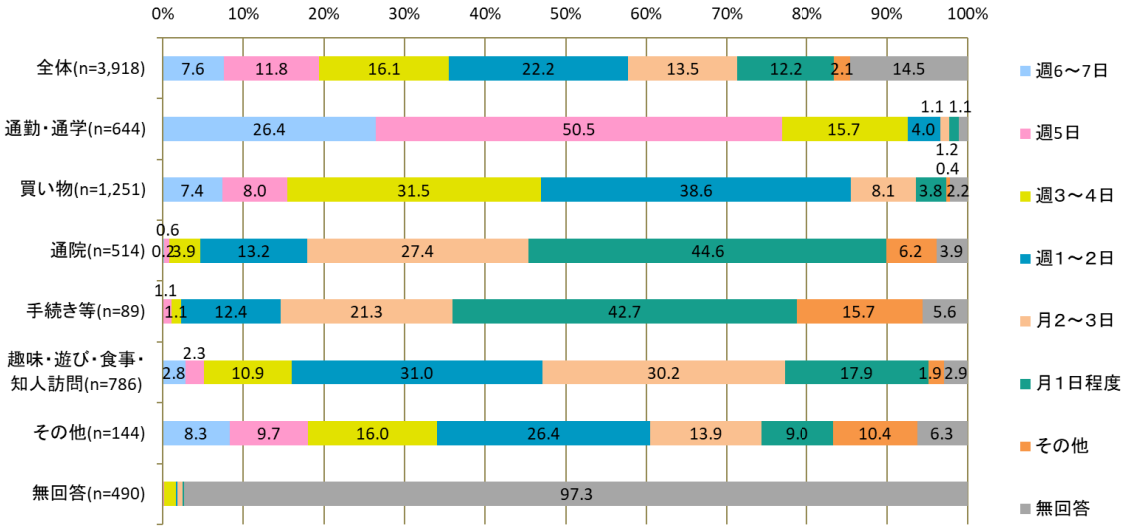
【外出頻度】

・「通勤・通学」では約 77%の方が週 5 日以上と回答している。

・「買い物」は約 86%の方が週 1 日以上外出している。

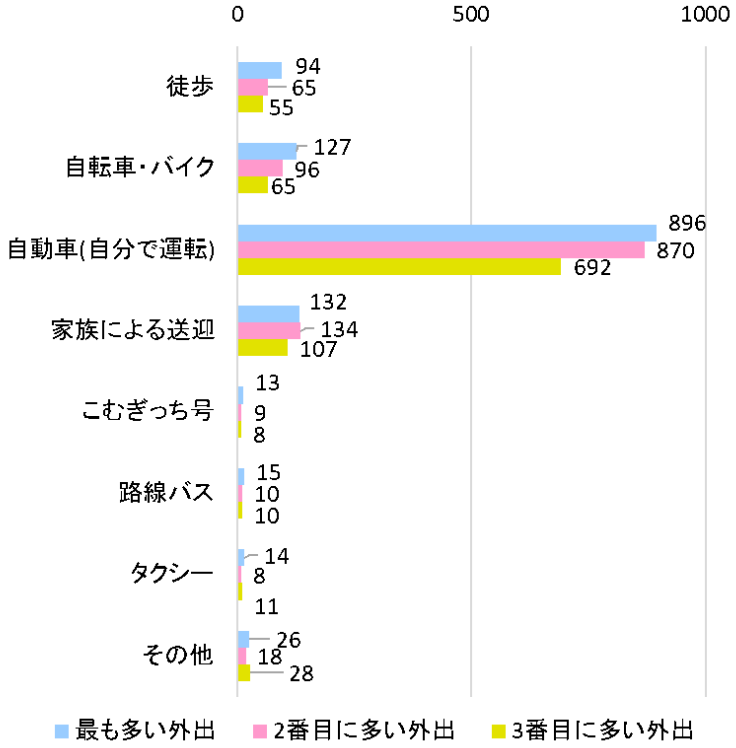


＜目的別＞

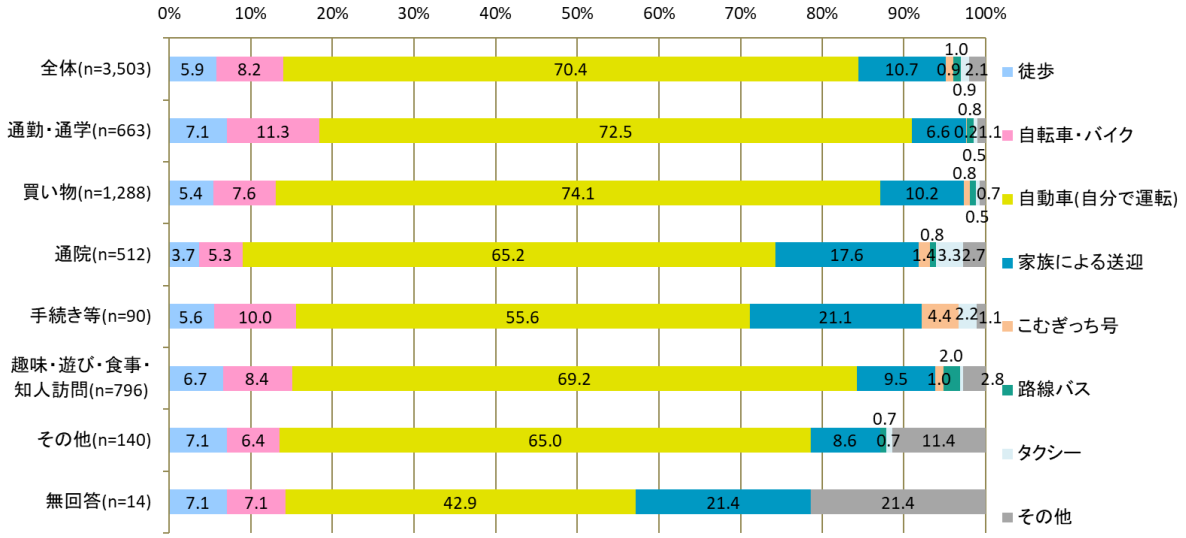


【交通手段】

・ほとんどの方が「自動車（自分で運転）」と回答しており、自動車への依存度が高い。
・「買い物」「通勤・通学」においては、「自動車（自分で運転）」が 70%を超えており、その他の目的で外出する際にも半数以上が「自動車（自分で運転）」と回答している。

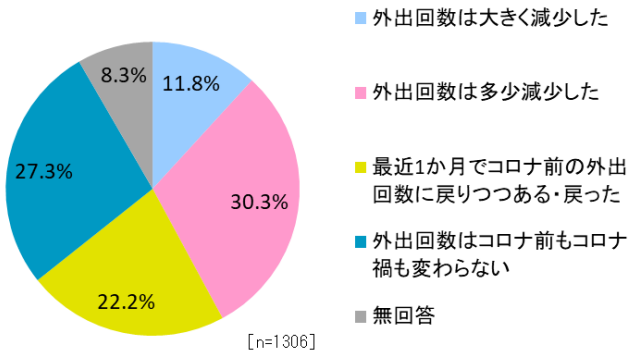


＜目的別＞



■　設問３：新型コロナウイルス感染症の流行が始まる前と、流行から５類感染症へ引き下げとなった現在までのあなたの日常生活における外出回数に変化はありましたか。

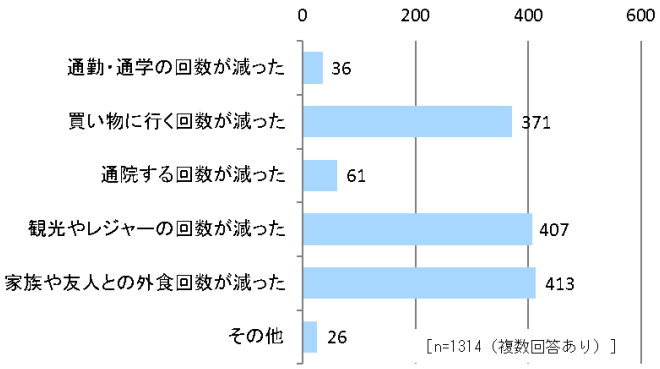
・「外出回数は大きく減少した」「外出回数は多少減少した」が約 42%である。



【設問３で「1．大きく減少した」「2．多少減少した」と回答された方】のみ回答

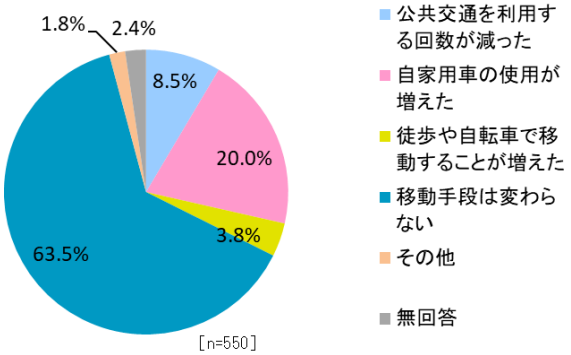
①主にどのように変わりましたか。

・「家族や友人との外食回数が減った」「観光やレジャーの回数が減った」「買い物に行く回数が減った」の回答が多い一方で、通勤・通学や通院の回答は比較的少ない傾向にある。



②コロナ前の移動手段と現在の移動手段に変化はありましたか。

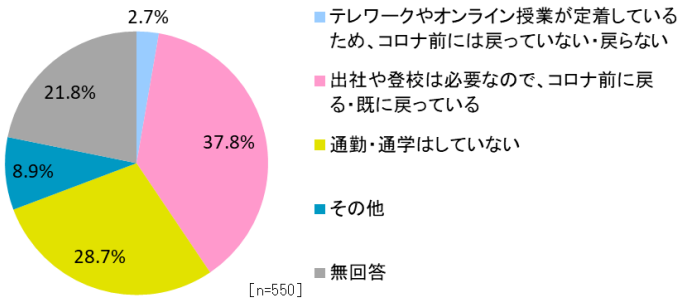
・「移動手段は変わらない」と回答した方が 63.5%と最も多いが、「公共交通を利用する回数が減った」「自家用車の使用が増えた」と回答した方が合わせて 28.5%となっている。



③外出の目的ごとの外出回数についておうかがいします。

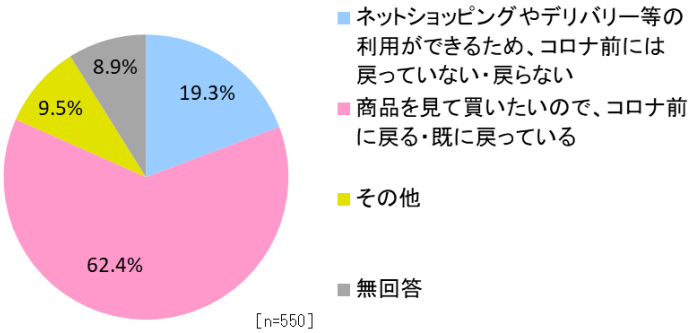
【通勤・通学での外出回数】

・「出社や登校は必要なので、コロナ前に戻る・既に戻っている」が最も多く 37.8%である。



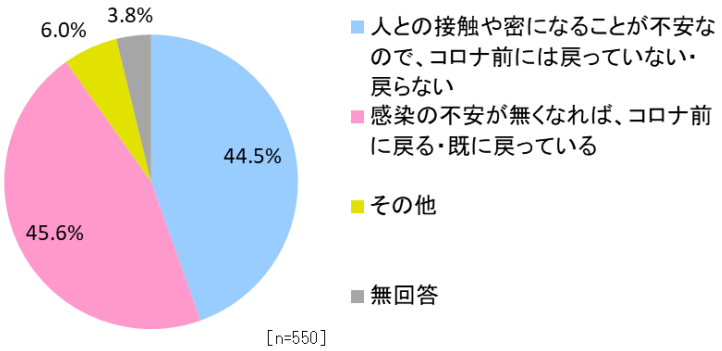
【買い物での外出回数】

・「商品を見て買いたいので、コロナ前に戻る・既に戻っている」と回答した方が 62.4%と最も多い。一方で、「通勤・通学」と比較して、コロナ前には戻っていない・戻らないと回答する割合が高くなっている。



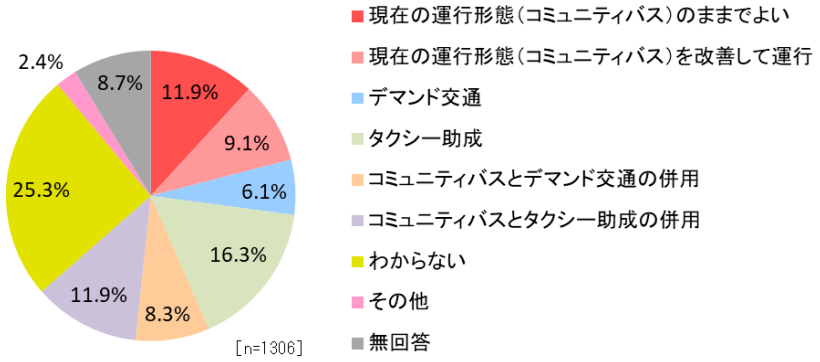
【観光やレジャー、外食での外出回数】

・「人との接触や密になることが不安なので戻っていない・戻らない」と「感染症の不安が無くなれば、コロナ前に戻る・既に戻っている」が同程度であり、【通勤・通学】や【買い物】と比較して、「コロナ前には戻っていない・戻らない」と回答する割合が高くなっている。

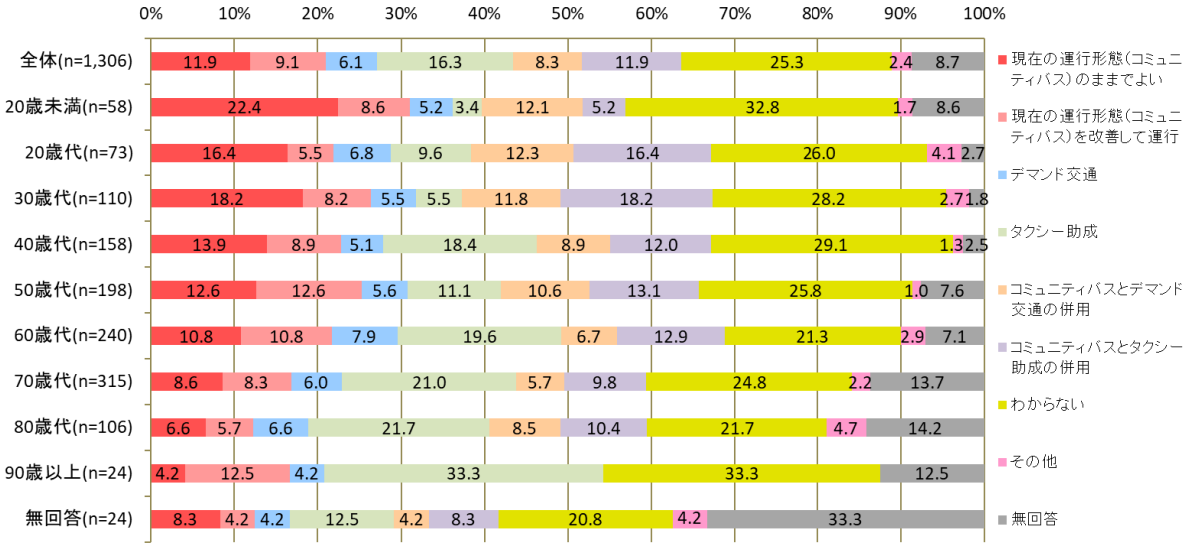


■　設問４：上里町の今後の公共交通としてふさわしいと思うものを教えてください。

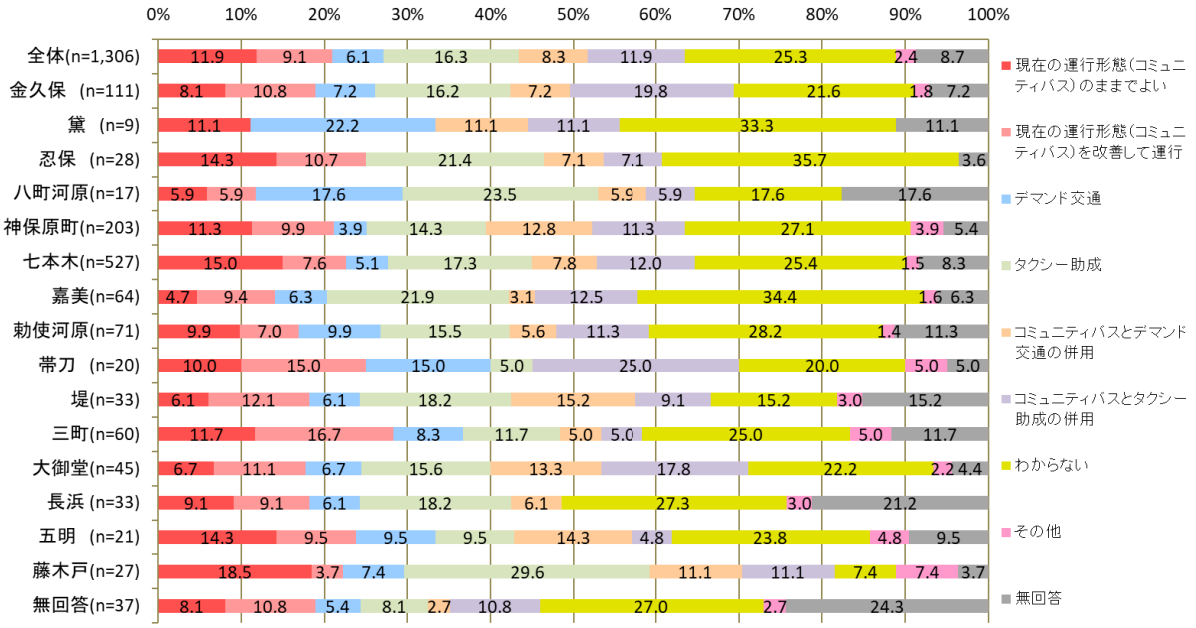
・「わからない」と回答する方が最も多い。
・次いで、「現行の運行形態」を望む回答が最も多い。



＜年齢別＞

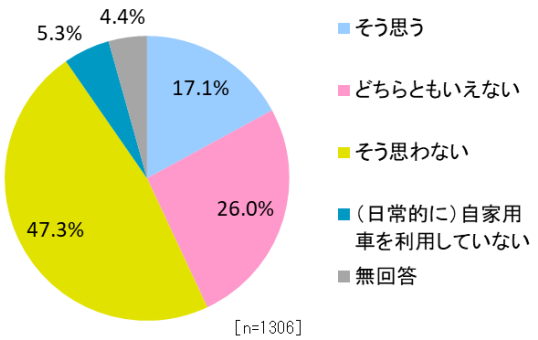


＜居住地別＞

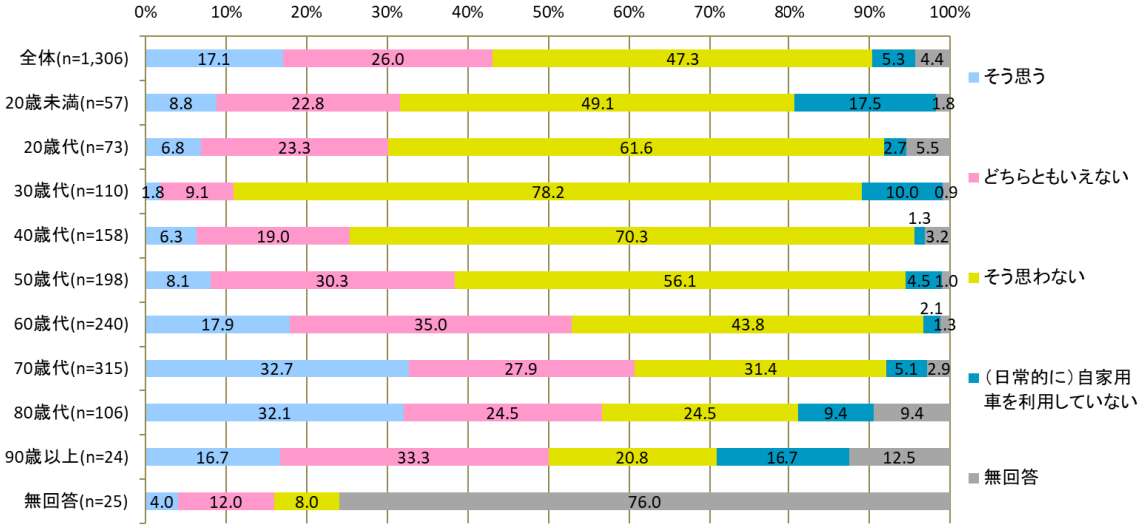

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
全体(n=1,306) 11.9 9.1 6.1 16.3 8.3 11.9 25.3 2.4 8.7
金久保 (n=111) 8.1 10.8 7.2 16.2 7.2 19.8 21.6 1.8 7.2
黛 (n=9) 11.1 22.2 11.1 11.1 33.3 11.1
忍保 (n=28) 14.3 10.7 21.4 7.1 7.1 35.7 3.6
八町河原(n=17) 5.9 5.9 17.6 23.5 5.9 5.9 17.6 17.6
神保原町(n=203) 11.3 9.9 3.9 14.3 12.8 11.3 27.1 3.9 5.4
七本木(n=527) 15.0 7.6 5.1 17.3 7.8 12.0 25.4 1.5 8.3
嘉美(n=64) 4.7 9.4 6.3 21.9 3.1 12.5 34.4 1.6 6.3
勅使河原(n=71) 9.9 7.0 9.9 15.5 5.6 11.3 28.2 1.4 11.3
帯刀 (n=20) 10.0 15.0 15.0 5.0 25.0 20.0 5.0 5.0
堤(n=33) 6.1 12.1 6.1 18.2 15.2 9.1 15.2 3.0 15.2
三町(n=60) 11.7 16.7 8.3 11.7 5.0 5.0 25.0 5.0 11.7
大御堂(n=45) 6.7 11.1 6.7 15.6 13.3 17.8 22.2 2.2 4.4
長浜 (n=33) 9.1 9.1 6.1 18.2 6.1 27.3 3.0 21.2
五明 (n=21) 14.3 9.5 9.5 9.5 14.3 4.8 23.8 4.8 9.5
藤木戸(n=27) 18.5 3.7 7.4 29.6 11.1 11.1 7.4 7.4 3.7
無回答(n=37) 8.1 10.8 5.4 8.1 2.7 10.8 27.0 2.7 24.3
現在の運行形態(コミュニティバス)のままでよい
現在の運行形態(コミュニティバス)を改善して運行
デマンド交通
タクシー助成
コミュニティバスとデマンド交通の併用
コミュニティバスとタクシー助成の併用
わからない
その他
無回答

■　設問５：町民の移動は、自家用車が中心となっています。あなたは今後自家用車による移動から公共交通を利用した移動に変更したいと思いますか。

・「そう思わない」と回答した方が 47.3%と最も多い。
・60 歳代から「そう思う」と回答する方が増え、70～80 歳代では 30%を超えている。



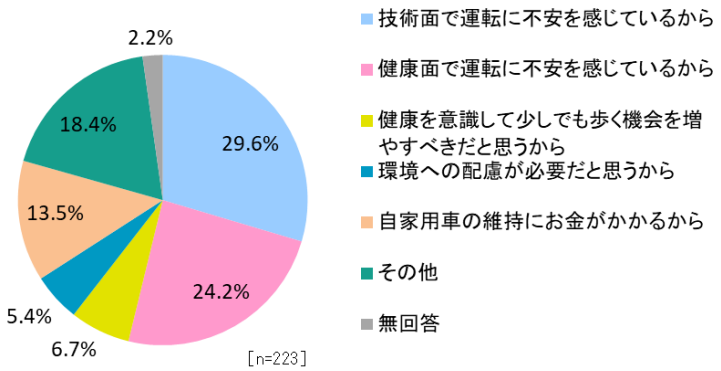
＜年齢別＞



【設問 5 で「1. そう思う」と回答された方】のみ回答

①自家用車から公共交通利用へ変更したい理由を教えてください。

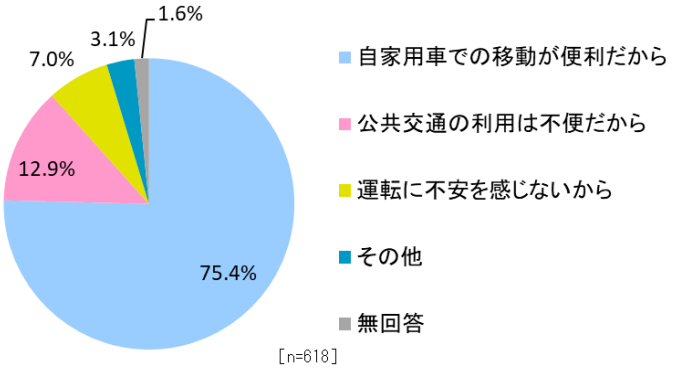
・技術面や健康面で運転に不安を感じている方が半数以上である。



【設問 5 で「3. そう思わない」と回答された方】のみ回答

①自家用車から公共交通利用へ変更したくない理由を教えてください。

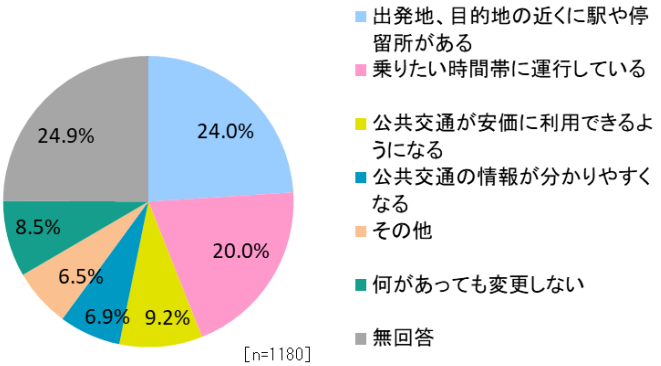
・「自家用車での移動が便利だから」が 75.4%と最も多い。



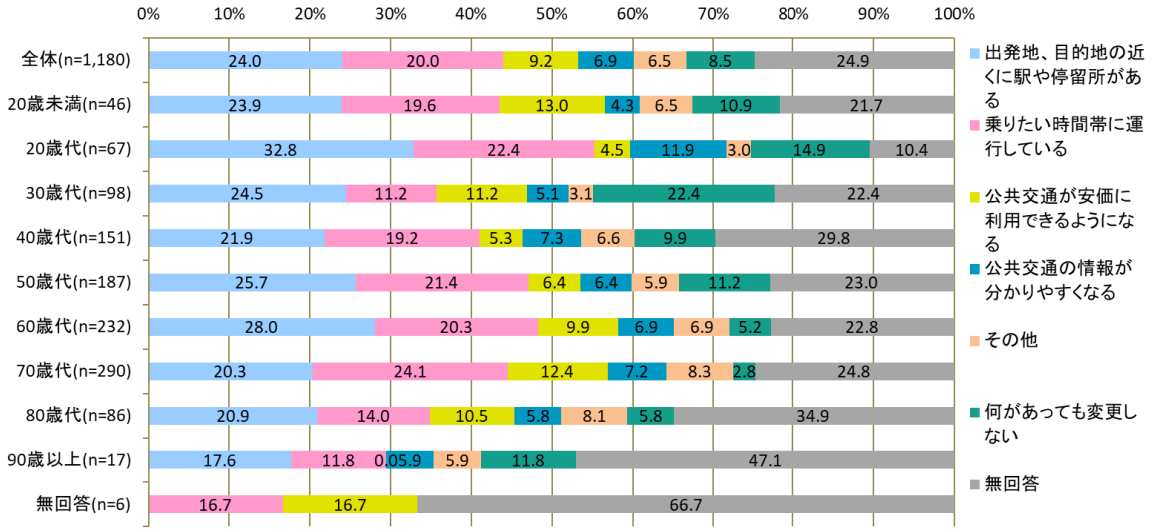
【設問 5 で「1．そう思う」「2．どちらともいえない」「3．そう思わない」と回答された方】のみ回答

①あなたはどのような条件が整えば自家用車から公共交通を利用した移動に変更したいと思いますか。

・停留所の近さ、運行時間の条件が整えば公共交通を利用した移動に変更したいという方が多い。
・30 歳代の「何があっても変更しない」と回答している割合が比較的多い。

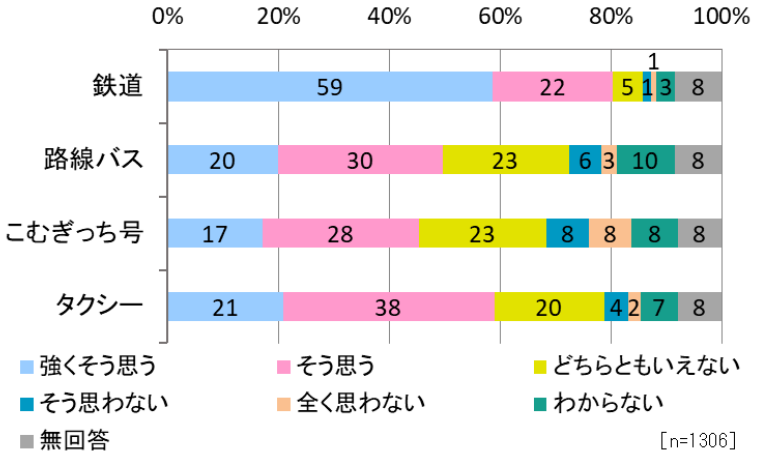


＜年齢別＞



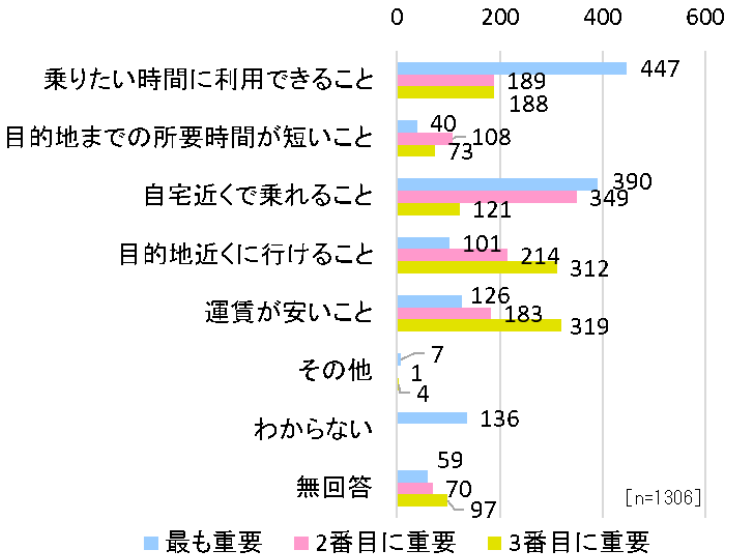
■　設問６：公共交通（鉄道、路線バス、こむぎっち号、タクシー）は、町民の移動において必要不可欠であると思いますか。

・鉄道では「強くそう思う」と回答している方が 59%と最も多い。



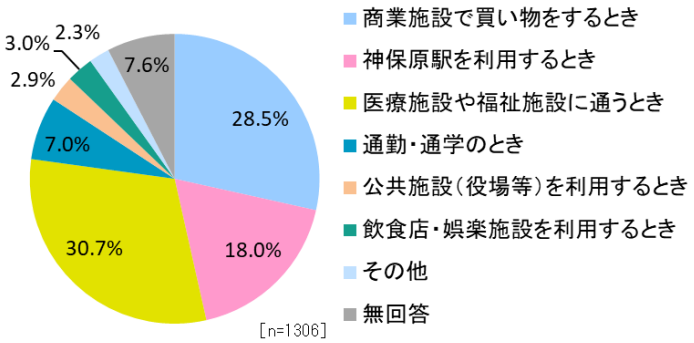
■　設問７：あなたが公共交通サービスにおいて重要だと思うことを教えてください。

・「乗りたい時間に利用できること」「自宅近くで乗れること」の回答が多い。

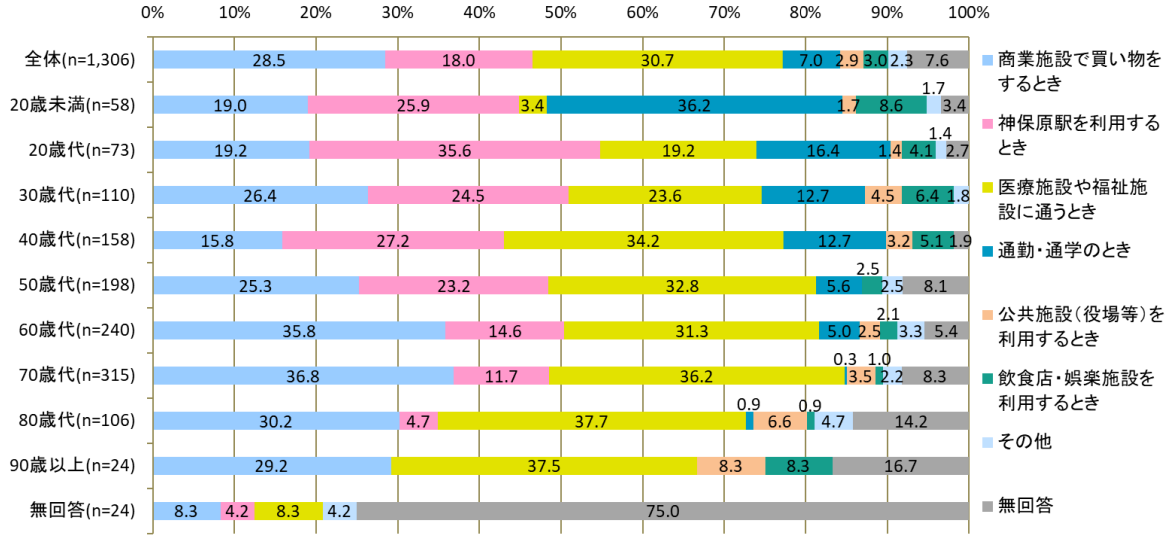


■　設問８：どのような目的の時に、利用しやすい公共交通になればより便利になると思いますか。

・「医療施設や福祉施設に通うとき」と回答している方が最も多く、次いで「商業施設で買い物をするとき」の回答が多い。
・「商業施設で買い物をするとき」「医療施設や福祉施設に通うとき」の回答は全年代で上位であるが、「神保原駅を利用するとき」は、80 代以上になると減少している。



＜年齢別＞



2．「こむぎっち号」利用者ヒアリング調査の結果

（1）調査概要

調査概要を以下に示す。

<table>
<tr><td>調査対象</td><td>「こむぎっち号」の利用者</td></tr>
<tr><td>調査日</td><td>令和 5 年（2023 年）9 月 25 日（月）～10 月7日（土）</td></tr>
<tr><td>調査方法</td><td>【9 月 26 日、9 月 27 日】調査員がバスに乗り込み、利用者に直接ヒアリング
【上記日程以外】運転手による調査票の配布・回収</td></tr>
<tr><td>調査項目</td><td>・属性（性別、年齢、住所、日常の主な交通手段、運転免許証の有無）
・「こむぎっち号」の利用状況
・「こむぎっち号」に対する満足度
・今後の公共交通サービスについて</td></tr>
<tr><td>回答者数</td><td>
<table>
<tr><th colspan="2">ルート</th><th>回答者数</th><th>複数回の回答含む
延回答数※</th></tr>
<tr><td colspan="2">全体</td><td>111</td><td>178</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ルート別</td><td>中央ルート</td><td>83</td><td>138</td></tr>
<tr><td>北部ルート</td><td>11</td><td>14</td></tr>
<tr><td>南部ルート</td><td>17</td><td>26</td></tr>
</table>
※調査期間内に複数回「こむぎっち号」を利用された方においては、2 回目以降の回答では利用したバス停留所のみを確認している。
複数回の回答含む延回答数とは、利用したバス停留所のみの回答を含む、調査期間中の総回答数を示す。
</td></tr>
</table>

以下の調査票を以下に示す。

「こむぎっち号」利用者アンケート

「こむぎっち号」にご乗車いただき、ありがとうございます。
ただ今、上里町では「こむぎっち号」の利便性向上のため、ご利用の皆様にアンケート調査をお願いしております。ご協力をお願いいたします。

【アンケート記入にあたってのお願い】

※　期間中、お一人様１回の回答をお願いします。
※　選択肢の番号を○で囲むか、下線または（　　）内にご記入ください。

利用日・乗車時間	月　　日（　　）曜日　　時　　分　　発
利用のバス	１．中央ルート ２．北部ルート（アグリパーク上里循環）　３．北部ルート（ウニクス循環） ４．南部ルート（アグリパーク上里循環）　５．南部ルート（ウニクス循環）

１．「こむぎっち号」の利用状況

①利用する停留所を記入してください。

乗ったバス停（　　）⇨ 降りるバス停（　　）

②このバスに乗る前（または降りた後）に、「こむぎっち号の他ルート、または他の交通機関への乗り継ぎをしましたか。

１．乗り継いでいない　→④へお進みください　　２．乗り継いだ　→③へお進みください

③乗り継いだ交通機関を教えてください。

１．「こむぎっち号」他のルート　２．鉄道　３．路線バス
４．タクシー　５．その他（　　）

④バスは「行き」と「帰り」の往復で利用されましたか。

１．往復で利用した　→⑥へお進みください
２．片道のみで利用した　→⑤へお進みください

⑤往復でバスを利用されなかった移動について、利用した移動手段を教えてください。

１．自動車（家族等の送迎）　２．タクシー　３．徒歩　４．その他（　　）

⑥こむぎっち号の利用頻度を教えてください。

１.ほぼ毎日　２.週に２～３日　３.週に１日
４．月に１回　５．初めての利用　６．その他（　　）

⑦主な利用目的を教えてください。　※複数選択可

１.買い物　２.通院　３.公共施設の利用（施設名：　　）
４.知人を訪問　５.通勤　６.通学　７.その他（　　）

２．「こむぎっち号」に対する満足度

「不満」を選択した場合には、その理由を記入してください。

総合評価	１．満足　２．やや満足　３．普通　４．やや不満　５．不満（　　）
運行時間	１．満足　２．普通　３．不満（　　）
運行日	１．満足　２．普通　３．不満（　　）
運行便数	１．満足　２．普通　３．不満（　　）
停留所の場所	１．満足　２．普通　３．不満（　　）
乗り継ぎ	１．満足　２．普通　３．不満（　　）

アンケートは裏面に続きます⇒

３．今後の公共交通サービスについて

①今後の町内の交通手段として、どのような取組が充実すればよいと思いますか。
１．「こむぎっち号」（コミュニティバス）の充実 ２．新たな公共交通サービス（※デマンドタクシー等）の導入 ３．民間バスの充実 ４．現状のままでよい　　５．その他（　　） ※デマンドタクシー：予約制の乗り合いタクシーのことで、利用者の要望（デマンド）に応じて利用する時間帯や乗降場所を決められる交通サービス。
②公共交通サービスにおいて、最も重要だと思うことを教えてください。
１．自宅近くで乗れること　　２．乗りたい時間に利用できること ３．利用料金が安いこと　　４．目的地近くまで行けること ５．目的地までの所要時間が短いこと　６．事前予約が不要であること ７．その他（　　）

４．あなた自身のことについて

性別	１．男性　　２．女性
年齢	１．～１０代　２．２０代　３．３０代　４．４０代 ５．５０代　６．６０代　７．７０代　８．８０代～
住所	１．町**内** ２．町**外**（　　都･道･府･県　　市･町･村） →「こむぎっち号」をどこで知りましたか？ （　　）
日常の主な交通手段	１．自動車　２．バイク　３．自転車　４．タクシー ５．電車　６．路線バス　７．こむぎっち号　８．家族の送迎 ９．その他（　　）
運転免許証の有無	１．有　　２．無

５．「こむぎっち号」や「今後の公共交通サービス」対する要望やご意見

例）駅での乗り継ぎに時刻表を合わせてほしい

アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート用紙は、回収箱にお願いします。

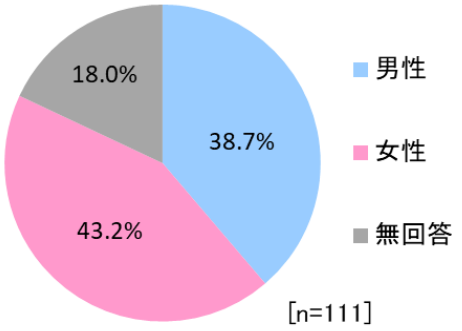
※アンケート結果につきましては、上記目的以外に使用することはありません。

【このアンケートに関するお問合せ先】
上里町地域公共交通活性化協議会事務局（上里町役場　総合政策課内　35-1238）

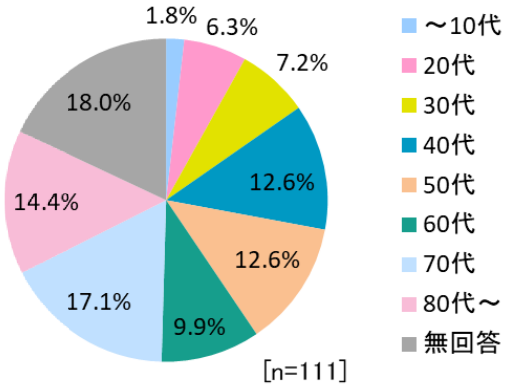
（2）調査結果

① 利用者属性

【性別】

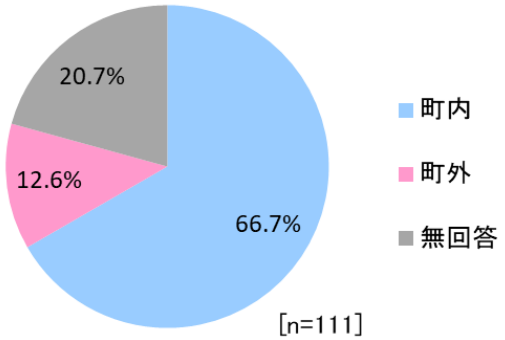


【年齢】

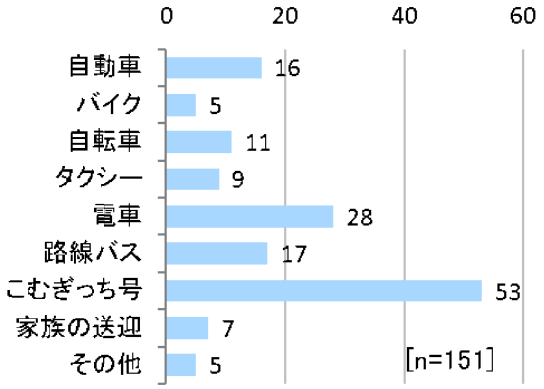


・女性からの回答が 43.2%と、男性よりも若干多い。
・60 代以上の回答が多いが、全世代から回答が得られた。

【住所】

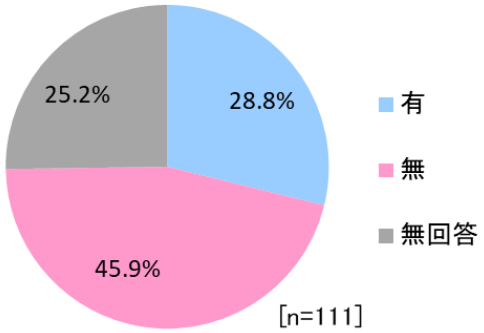


【日常の主な交通手段】　（複数回答あり）



・町内の方からの回答が半数以上で、「こむぎっち号」を日常的に利用している方が最も多い。

【運転免許証】



・約半数が運転免許証を持っていないと回答している。

② 回答内容

1.「こむぎっち号」の利用状況

①利用する停留所を記入してください。

【中央ルート】

・乗車する停留所はウニクス、神保原駅、ベルク七本木店の順に多く、降車では神保原駅、ウニクス、イオンタウンの順に多い。
・駅及び商業施設の利用が上位を占めている。

利用の多い停留所（乗車）
1位　ウニクス(乗22人)
2位　神保原駅(乗19人)
3位　ベルク七本木店(乗18人)

利用の多い停留所（降車）
1位　神保原駅(降28人)
2位　ウニクス(降19人)
3位　イオンタウン(降18人)

【北部ルート】

・乗車する停留所、降車する停留所共に、ウニクスが最も多い。

利用の多い停留所（乗車）
1位　ウニクス(乗4人)
2位　神保原駅北口(乗3人)

利用の多い停留所（降車）
1位　ウニクス(降4人)
2位　神保原駅北口(降2人)
2位　神保原陸橋北(降2人)

【南部ルート】

・乗車する停留所、降車する停留所共に、ウニクスが最も多い。

利用の多い停留所（乗車）
1位　ウニクス(乗6人)
2位　神保原駅南広場(乗3人)
2位　立野南公民館東(乗3人)

利用の多い停留所（降車）
1位　ウニクス(降7人)
2位　神保原駅南広場(降6人)
3位　上里町役場(降4人)

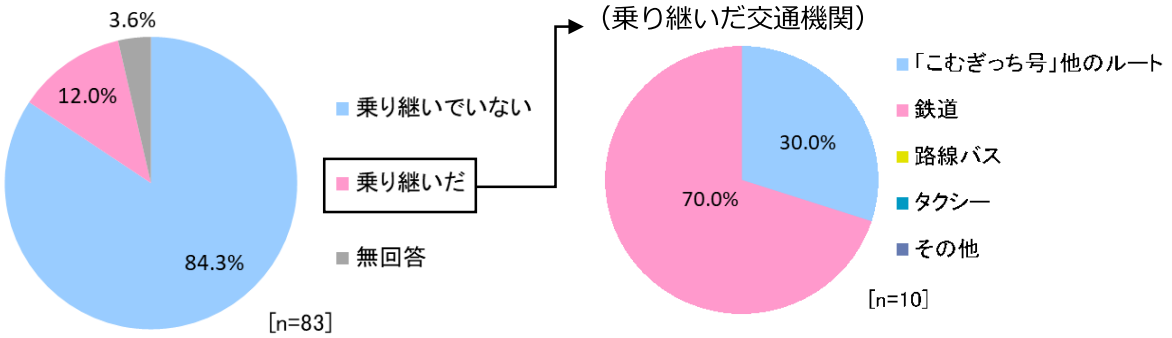
※利用者数が2人以上の上位3箇所を示す。

②このバスに乗る前（または降りた後）に、「こむぎっち号」の他ルート、または他の交通機関への乗り継ぎをしましたか。

【「乗り継いだ」と回答した方のみ】
③乗り継いだ交通機関を教えてください。

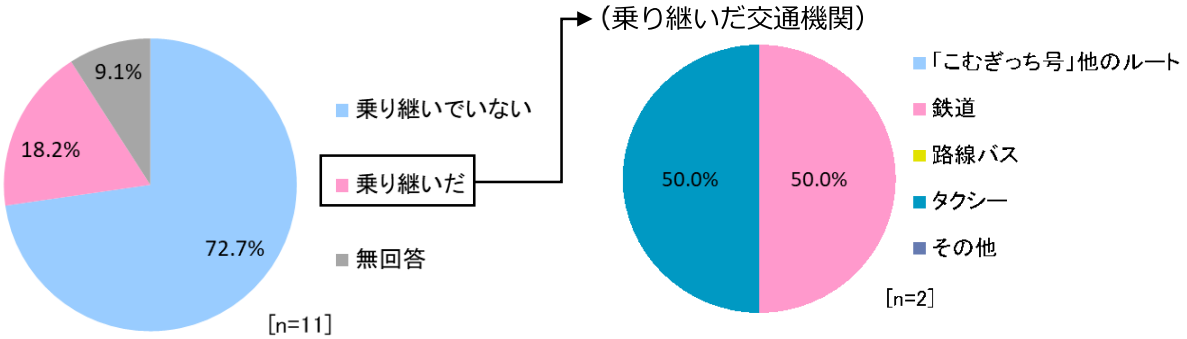
【中央ルート】

・乗り継いでいない方が 84.3%と多く、乗り継いだ方の 70%は「鉄道」を利用している。



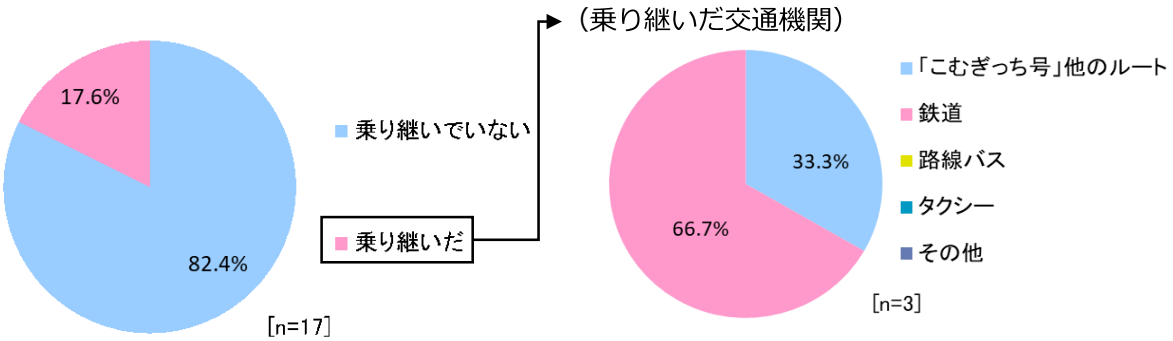
【北部ルート】

・乗り継いでいない方が 72.7%と多く、乗り継いだ方は「鉄道」または「タクシー」を利用している。



【南部ルート】

・乗り継いでいない方が 82.4%と多く、乗り継いだ方は「こむぎっち号他のルート」「鉄道」を利用している。



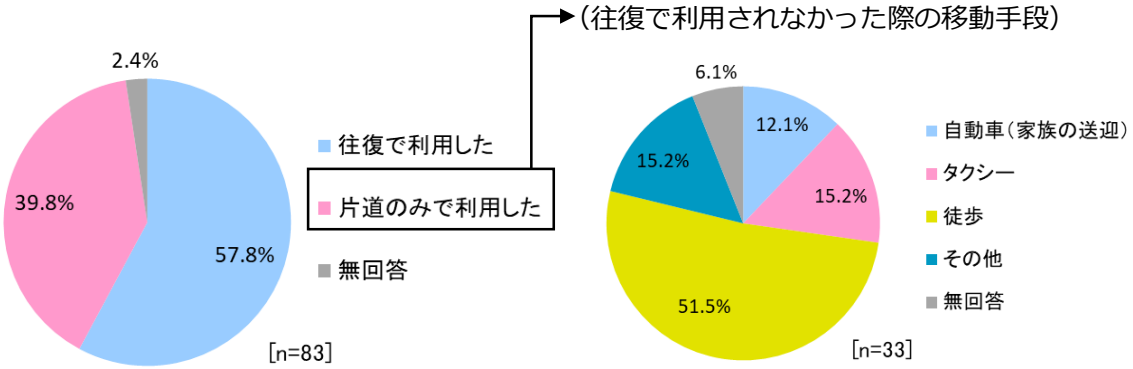
④バスは「行き」と「帰り」の往復で利用されましたか。

【「片道のみで利用した」と回答した方のみ】

⑤往復でバスを利用されなかった移動について、利用した移動手段を教えてください。

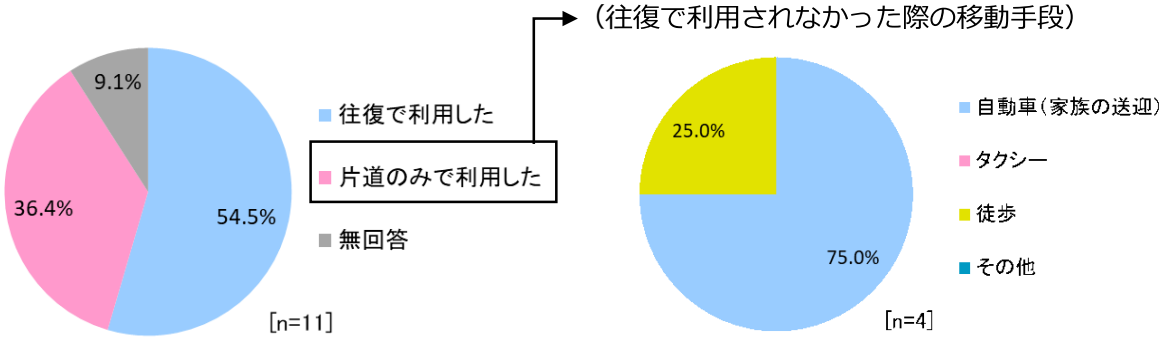
【中央ルート】

・「往復で利用した」と回答した方が 57.8%と半数以上を占めている。
・「片道のみで利用した」方は、半数以上の方が「徒歩」で移動している。



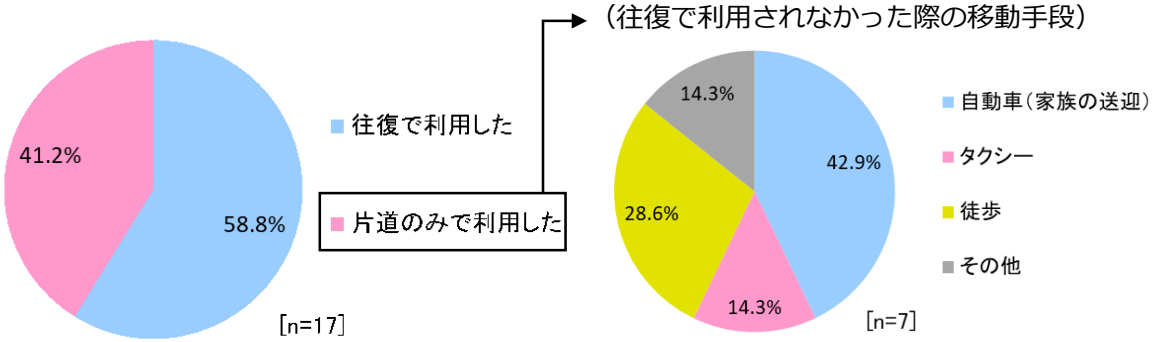
【北部ルート】

・「往復で利用した」と回答した方が 54.5%と半数以上を占めている。
・「片道のみで利用した」方は、75%が「自動車(家族の送迎)」で移動している。



【南部ルート】

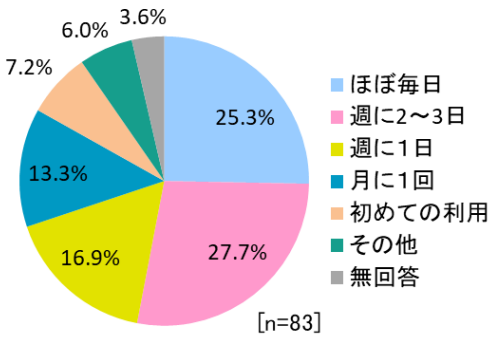
・「往復で利用した」と回答した方が 58.8%と半数以上を占めている。
・「片道のみで利用した」方は、約 40%が「自動車(家族の送迎)」で移動をしている。



⑥こむぎっち号の利用頻度を教えてください。

【中央ルート】

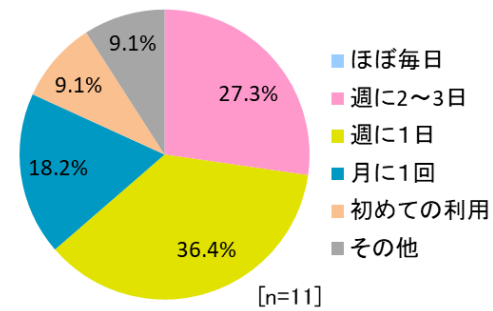
・「週に 2～3 日」利用している方が 27.7%と最も多い。
・「ほぼ毎日」、「週に 1 日」と回答した人が次に多く、週 1 日以上利用している方が 69.9%である。

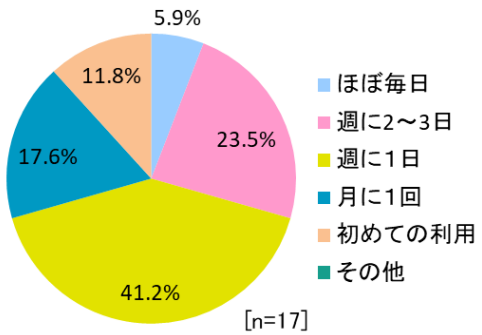


【北部ルート】

【南部ルート】

・北部ルート、南部ルート共に「週に 1 回」と回答した方が最も多い。

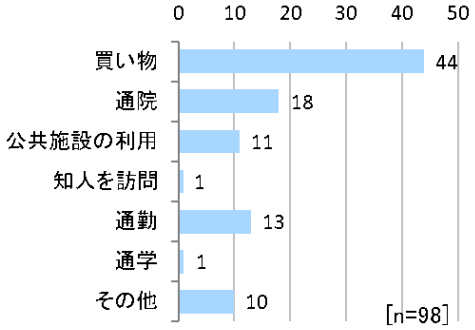




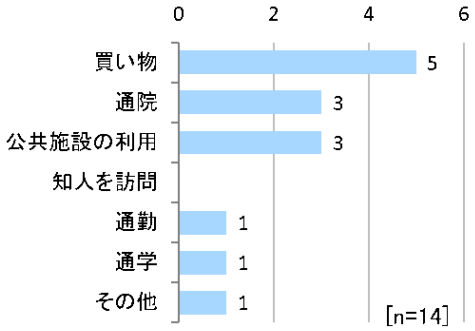
⑦主な利用目的を教えてください。　（複数回答あり）

・どのルートでも、「買い物」に行くために利用する方が一番多く、次いで「通院」での利用が多い。
・中央ルートでは「通勤」で利用している方もいる。

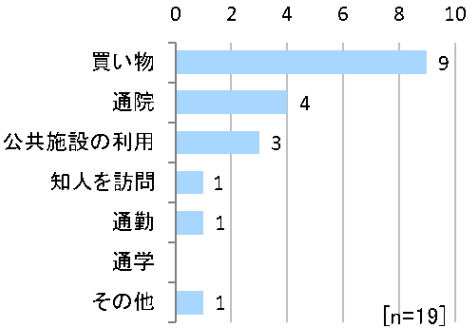
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】

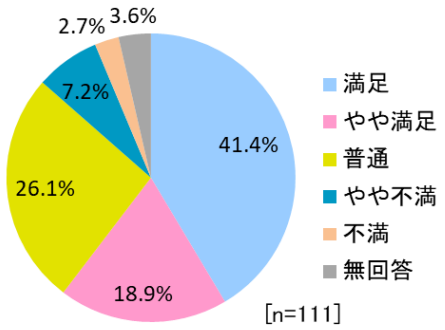


2.「こむぎっち号」に対する満足度

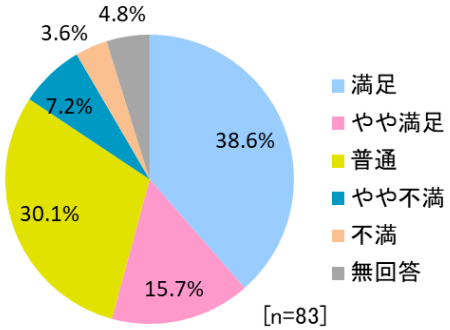
①総合評価

・どのルートを見ても、「やや満足」「満足」の回答が半数を超えている。

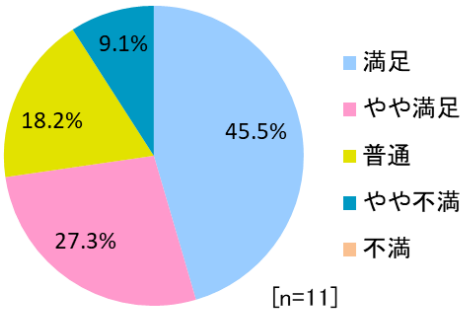
【全体】



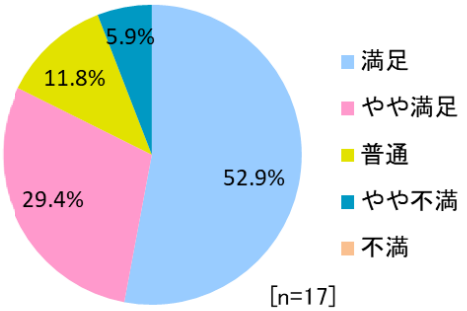
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】



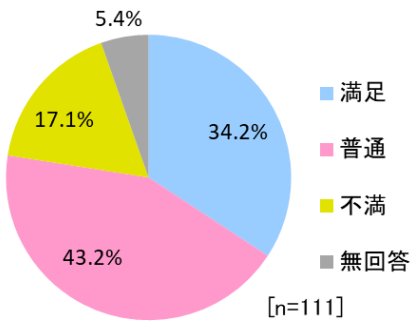
■「総合評価」における主な不満理由

ルート	主な不満理由
中央ルート	運行本数が少ない。徒歩の方が早い時がある。

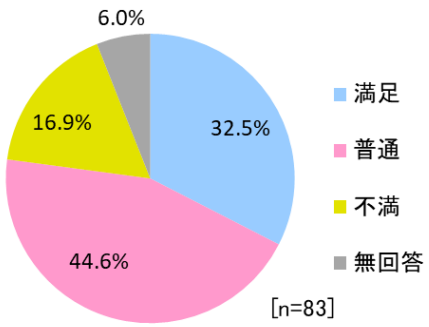
②運行時間

・中央ルート及び南部ルートでは、「普通」、北部ルートでは「満足」と回答とした方が最も多い。
・不満の理由としては、帰宅時間に運行していないこと等があげられている。

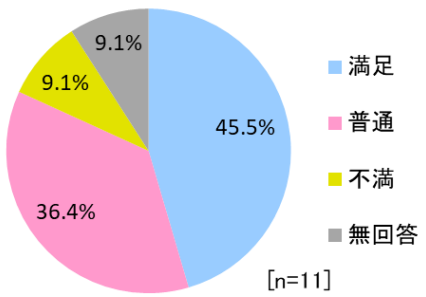
【全体】



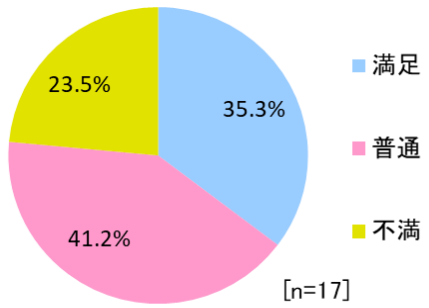
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】



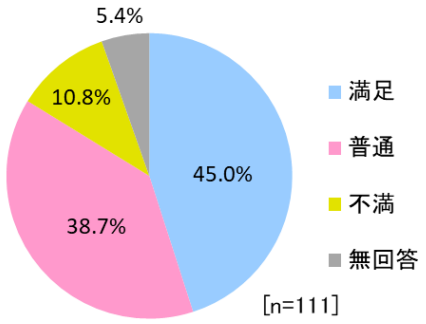
■「運行時間」に関する主な不満理由

ルート	主な不満理由
中央ルート	帰りの時間にバスがない。タクシーになる事が多い。
	朝7：30の便がほしい。
	運行便数が少ない。
	朝、絶対に遅れている。
	同時刻に同じバス停に来て間違った。
北部ルート	もう少し遅ければ良い。
南部ルート	帰りの時間が合わない。
	もう少し本数が多いとうれしい。
	循環なので帰りがタクシーになる。

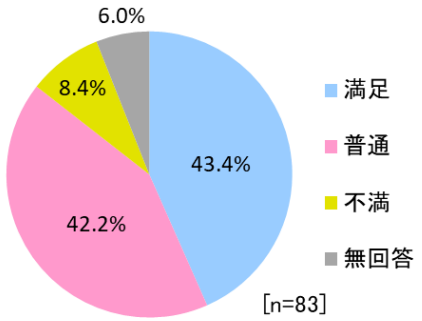
③運行日

・全てのルートで「満足」と回答とした方が最も多い。
・不満の理由としては、日曜日運行があげられている。

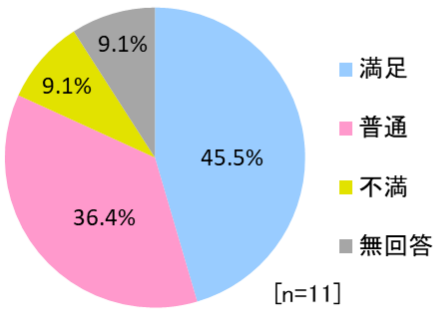
【全体】



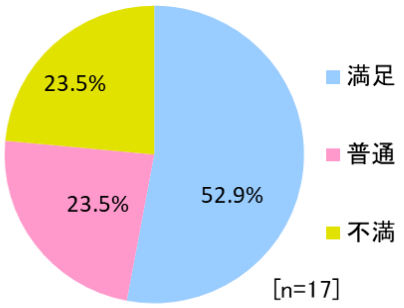
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】



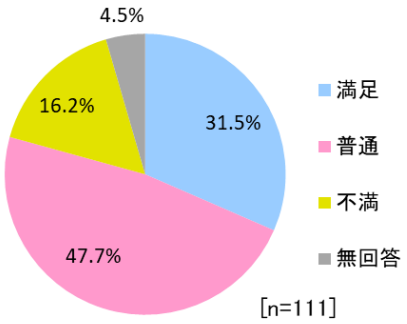
■「運行日」に関する主な不満理由

ルート	主な不満理由
中央ルート	日曜日も運行してほしい。
北部ルート	毎日運行してほしい。
南部ルート	日曜日も運行してほしい。
	運行日を増やしてほしい。

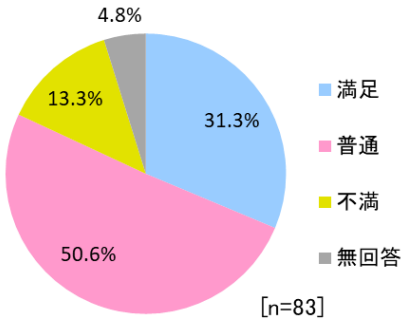
④運行便数

・中央ルート及び北部ルートでは、「普通」、南部ルートでは「満足」と回答とした方が最も多い。

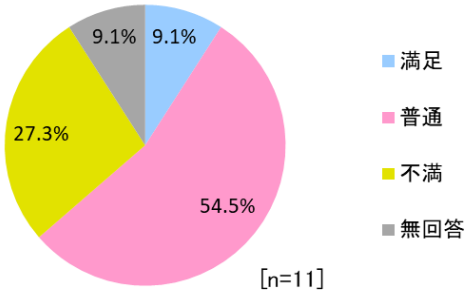
【全体】



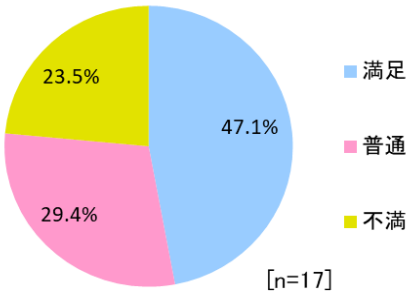
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】



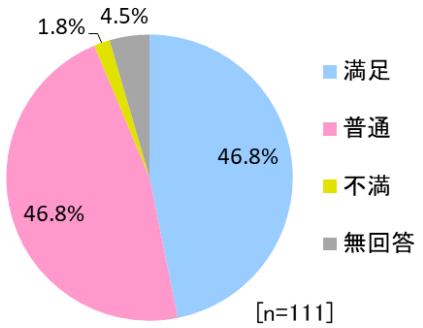
■「運行便数」に関する主な不満理由

ルート	主な不満理由
中央ルート	本数を増やしてほしい。
北部ルート	本数を増やしてほしい。
南部ルート	行きしかない。
	本数を増やしてほしい。
	お昼の時間帯の便が少ない。

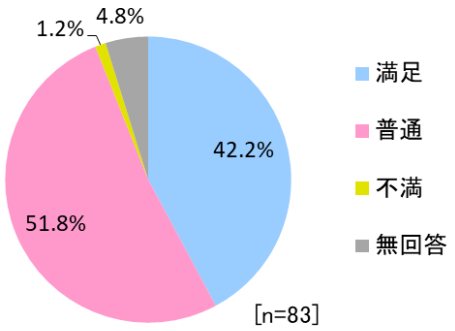
⑤停留所の場所

・どのルートでも約９割の方が「普通」または「満足」と回答している。

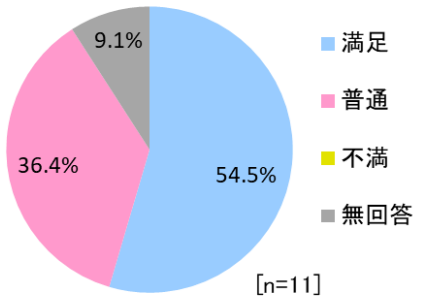
【全体】



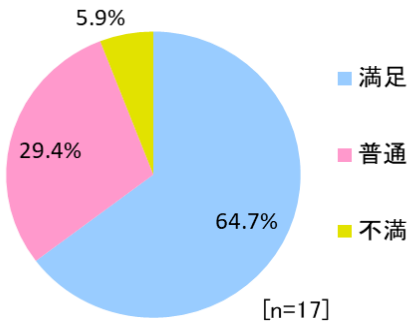
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】



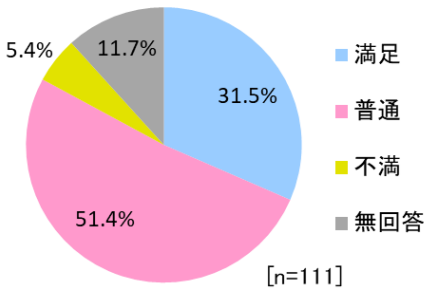
■「停留所の場所」に関する主な不満理由

ルート	主な不満理由
南部ルート	家から少し距離がある。

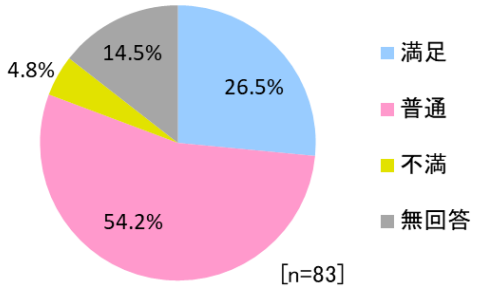
⑥乗り継ぎ

・中央ルート及び北部ルートでは、「普通」、南部ルートでは「満足」と回答とした方が最も多い。

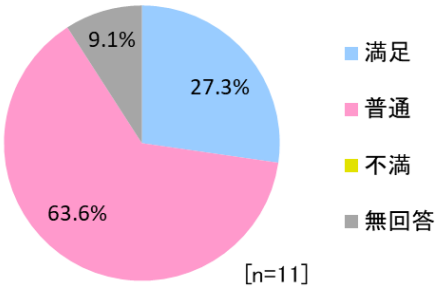
【全体】



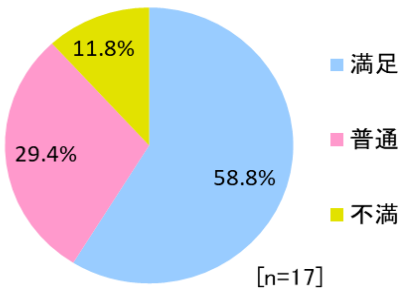
【中央ルート】



【北部ルート】



【南部ルート】



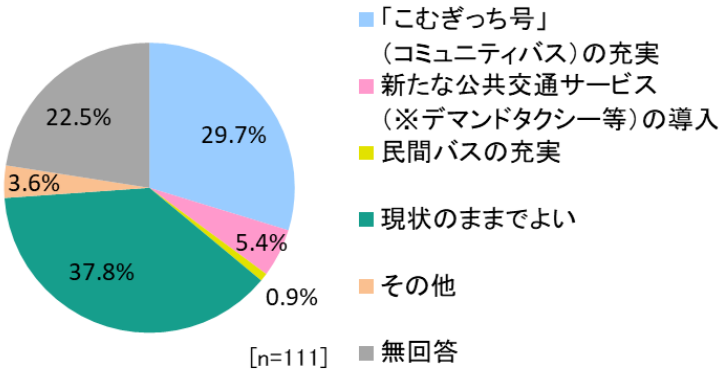
■「乗り継ぎ」に関する主な不満理由

ルート	主な不満理由
中央ルート	時間が合わないことが多い。
南部ルート	乗り継ぎが難しい。

3.今後の公共交通サービスについて

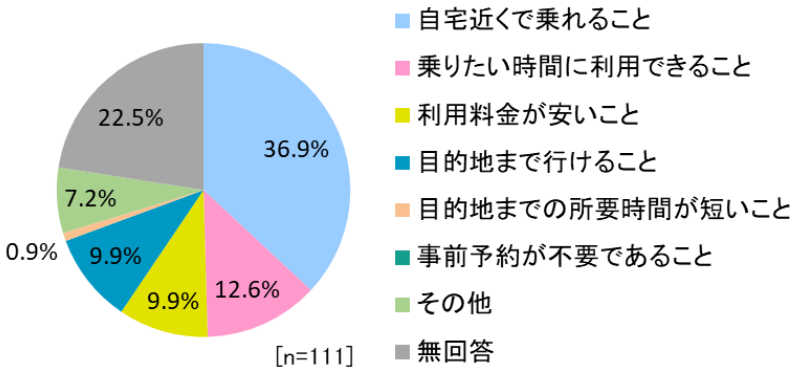
①今後の町内の交通手段として、どのような取り組みが充実すればよいと思いますか。

・「現状のままでよい」が最も多く、次いで「「こむぎっち号」の充実」が多くなっている。



②公共交通サービスにおいて、最も重要だと思うことを教えてください。

・「自宅近くで乗れること」と回答している方が最も多い。



上里町地域公共交通計画

令和7年3月

発　行：上里町
編　集：上里町地域公共交通活性化協議会事務局（総合政策課）
〒369-0392　埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518
TEL：0495-35-1221（代）　FAX：0495-33-2429（代）